



群馬大学

社会情報学部案内

Gunma University

Faculty of

Social and Information

Studies 2016

Restart

—未来に向かって—

2016年4月より、社会情報学部が変わります。新たな社情で、未来への一步を踏み出しませんか。



- 04 学部長挨拶
- 05 学部概要
- 06 社会情報学部改組
- 08 カリキュラム
- 10 学年別学修内容
- 12 教員一覧
- 14 VOICE ~ 学生の声 ~
- 16 就職支援・進路状況
- 18 卒業生インタビュー
- 20 施設・設備
- 21 就業力・キャリア教育
- 22 交換留学プログラム
- 26 Campus Life
- 28 Documentary
- 30 年間スケジュール
- 31 合格体験記
- 32 社情だからできること
- 34 入試情報



群馬大学
社会情報学部



富山慶典 Tomiyama Yoshinori

1994年群馬大学に着任。2015年学部長に就任。

専門は意思決定科学、社会的選択論、e-デモクラシー論。個人的意思決定や民主的意思決定の理論的研究とともに、社会情報学のテーマであるe-デモクラシーを研究している。『選択の数理』、『環境としての情報空間』、『正義の論理』などの著書がある。



高度情報社会を〈情報力〉でけん引する

次世代リーダーを目指そう！

情報技術の開発と利用が進むことと、私たちの振るまいが情報に依存する度合いが強まることを指して「情報化」といいます。インターネットは短い期間に世界的な規模で普及しました。その爆発的な普及により、職場だけでなく日常生活の様々なシーンでも情報技術が活用されるようになり、私たちの情報への依存度が大きくなってきています。情報化の影響は、ますます広く、そして深くまで及ぶようになり、私たちの社会は、現在「高度情報社会」と呼ばれるようになりました。

私たちは、情報化が高度に進んだこの社会を、さらに豊かで安心安全なものへと発展させていかなければなりません。そのためには、多くの人々が

情報に関わる現象を正しく理解し、情報を適切に活用するための知識や技能などを身につけることが必要です。情報を収集し、分析し、発信する専門的なく情報力>を兼ね備え、社会のあちこちで活躍する人材が欠かせないのです。

このような人材を養成しているのが社会情報学部です。社会情報学部では、まずメディア・コミュニケーション・情報をキーワードに、情報力の基礎をしっかり身につけます。それから、企業や公的部門等でその情報力を活用できるよう、学生は豊富な授業科目の中から選択し、自らの興味・関心に応じて学修を深めていきます。日本最大手の情報・通信事業グループとの連携授業を含む「キャリア教育」も充実し、国内外で主体的に活動できる「グローバルフロン

ティアリーダー(GFL)]を養成するコースも始まっています。

高校生の皆さんが活躍する21世紀は、さらに本格的な「高度情報社会」の時代となります。これからは、そこで活躍できる能力を身につける必要があります。

〈情報力〉を鍛える“場”。それがここにあります。社会情報学部には、創設以来今日まで、何事にも積極的にチャレンジする遺伝子が受け継がれています。望ましい高度情報社会を創造する“機会”が、社会情報学部には溢れているのです。社会情報学を学んで、豊かで安心安全な高度情報社会をけん引する次世代リーダーを目指してください！

社会情報学部とはどのような学部でしょうか。最近出版されたテキストでは、「社会における情報現象の総体を対象に、その特質を理論的に、かつ実証的に明らかにする学問」と紹介されています(西垣・伊藤, 2015)。群馬大学社会情報学部も、基本的にこの考え方に立つものです。私達の取り組む対象は、「社会における情報現象の総体」です。そして、この目的意識の中に私達のアイデンティティがあります。「情報現象」への着目がそれほど新しいものでなく、すでに色々な研究が残されてきたことにも注意しましょう。情報機器が普及したのは最近のことですが、それだけではないのです。学問としての社会情報学はかなり奥深く、哲学や生命のパラダイムとも関連した壮大な構想なのです。

一方で、群馬大学社会情報学部では、人文科学や社会科学・環境科学の視点も大切にしてきた経緯があります。つまり、この学部では、伝統的なそれらの学問を学ぶ学部にも引けを取らない専門教育を行い、その上で、さらに「社会における情報現象の総体」の問題に向かうのです。学ぶべきことは多いのですが、それだけ成長できる学部であるとも言えるでしょう。

群馬大学社会情報学部には、カリキュラムの点で海外経験を重視するという特徴もあります。海外の多くの大学と交流協定を結び、毎年のように学生を送り出



変わりゆく社会の

包括的な理解と

総合的な問題解決策の探求



しています。単位互換の制度を整えることで、1年間の海外留学を含めて4年間で卒業できるようにするなどの工夫もあります。また、群馬大学社会情報学部では就業力育成の面でも特徴のあるカリキュラムを用意しています。このパンフレットにあるように、さまざまな企業・団体との連携授業も設けられています。国際情勢に通じ、職業場面のさまざまなニーズに応えられるような人材を養成する教育体制がここにはあります。

今後も私達の社会は変わり続けます。私達はその中でさまざまな問題に出会うはずですが、それでも私達はそれらを解決しつつ、次の世代のためによりよい社会を築いていかなければなりません。社会問題は複雑で、多様な側面をもつことが多く、場当たりの対応では根本的な解決に至らないこともあります。現場で求められるのは、問題の深い理解に根ざした英知ある対応であると言えるでしょう。情報という切り口で、そうした英知ある総合的な問題解決能力の養成を目指していくのが社会情報学部です。

西垣通・伊藤守(編著)(2015). よくわかる社会情報学 ミネルヴァ書房



改組の趣旨

- 情報化の進展により社会が求める人材像が変化し、情報通信技術（ICT）を活用して**社会・組織の革新**を生む人材が求められるようになりました。そこで、平成28年度から学部のカリキュラムを全面改訂します。
- 新社会情報学部では、**メディア、コミュニケーション、情報**をキーワードに、高度情報社会の課題を発見し、その解決策を**科学的な思考と実践的な情報処理**や**データの収集・分析**によって提案できる人を養成します。

教育課程の改編のポイント

- ① 厚い共通科目
コア科目やリサーチスキル科目などの、社会情報学部での学修の基礎となる科目をしっかりと学びます。
- ② ディレクション制
ディレクション制をとります。入学後、進路希望に応じた3つのディレクション（公務と法律、メディアと文化、経済と経営）の中から、自ら学修を深めるべき方向性を決めることができます。
- ③ 課題解決型授業（Project-Based Learningとも呼ばれます）
教室で座って講義を受けるだけでなく、解決すべき課題に受講者が主体的に取り組む授業形式を取り入れます。
- ④ 選抜型「データ解析プログラム」
リサーチスキル科目を重点的に学び、ビッグデータの時代に相応しいデータ解析の力を着実に身につけるプログラムを提供します。

プロジェクト科目



Project-Based Learning(課題解決型授業)と呼ばれており、解決すべき課題に対して、グループごとに実践的に取り組む新しいタイプの授業形式です。
課題解決を通して、課題発見・解決能力、批判的思考、企画力、管理・コラボレーション能力などを育成します。

- ① ディレクションごとの「プロジェクト科目」
ディレクションごとに設定された、そのディレクションに相応しい今日的なテーマの課題解決を目指します。(例：情報産業の革新)
- ② ディレクション横断型「プロジェクト科目」
複数のディレクションにまたがる今日的なテーマの課題解決を目指します。(例：ソーシャルメディア時代のプライバシー保護)

選抜型「データ解析プログラム」



高度情報社会に溢れる大量のデータを解析する基礎を身につけるため、データ解析に興味を持つ学生に提供するプログラムです。
データ解析手法を活用できるだけでなく、解析すべき問題を「発見」できる人材を養成します。
いずれかのディレクションを履修しながら研究方法やデータ解析手法、情報処理スキルを集中的に学修します。

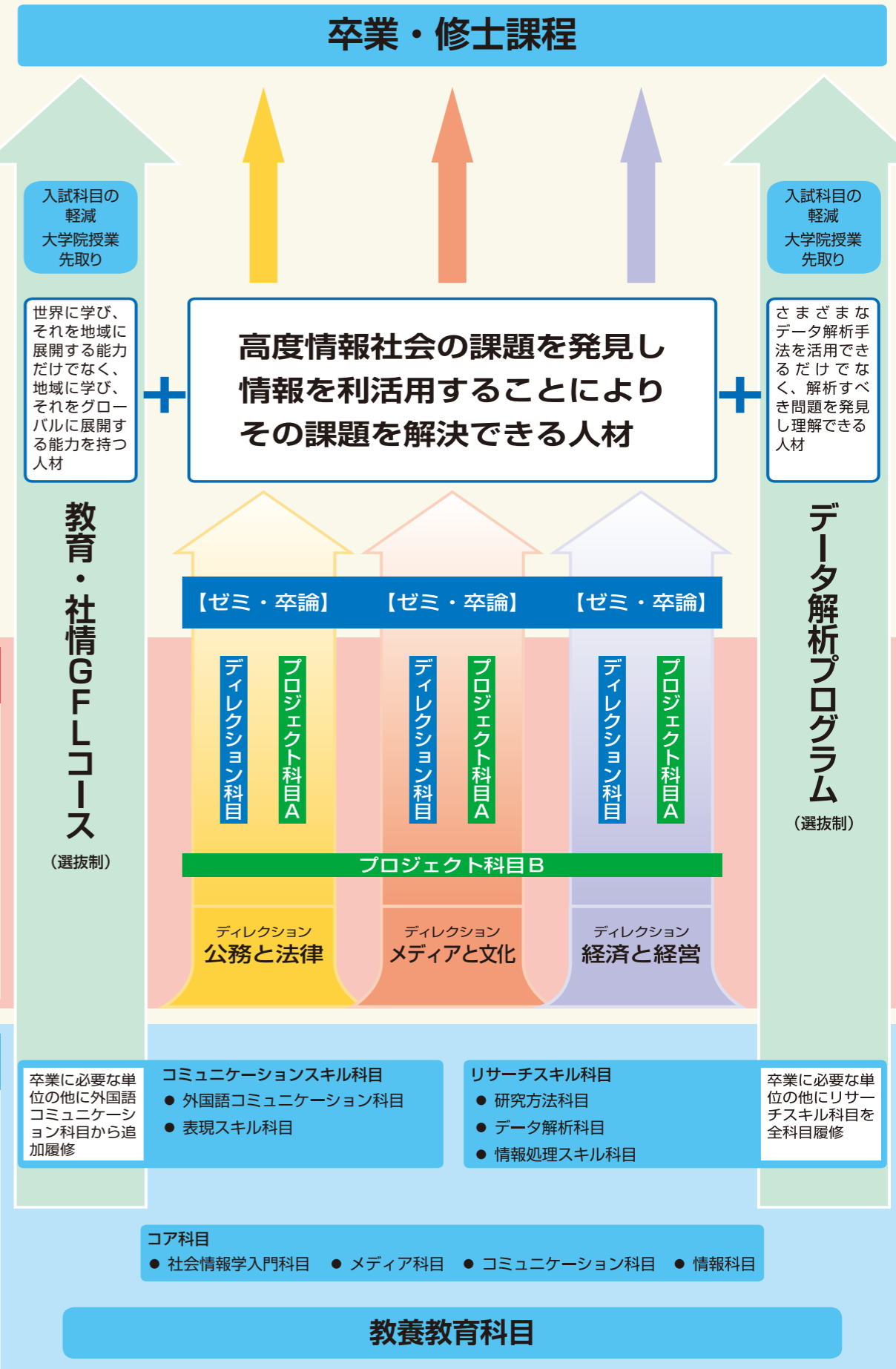
- 選抜方法・修了証
- 1年次の後期に前期成績、志望理由書、面接などに基づいて10名を選抜します。修了後にはプログラム修了証が授与されます。
- 大学院入試での優遇措置もあります。

グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース



教育学部と連携して平成27年度から始まっています。「世界に学び、それを地域に展開する能力だけでなく、地域に学び、それをグローバルに展開する能力を持つ人材」を養成します。
1年次の夏休み前に、英語検定試験（TOEIC、TOEFLなど）のスコア、前期成績、志望理由書、面接などに基づいて10名を選抜します。
具体的な内容は以下の2つから構成されています。

- (1) 関連分野の授業の履修：社会情報学部・教育学部開講の専門科目、教養教育開講科目（外国語、言語・文化、国際、地域、多文化共生など）
- (2) 各種行事への参加：交換留学、海外短期研修、インターナショナルキャンプ、留学生交流会、特別講義・講演会など



※掲載内容は現時点の設置計画であり、変更の可能性があります。

教養教育科目

教養基盤科目

学びのリテラシー (1) 英語
スポーツ・健康 情報 就業力

学びのリテラシー (2) 英語
スポーツ・健康

英語

英語

教養育成科目

人文科学科目群 社会科学科目群 自然科学科目群 健康科学科目群 外国語教養科目群 総合科目群

コア科目

入門科目

社会情報学基礎論

情報社会基礎論

メディア科目

情報メディア基礎論

マスメディア論

ソーシャルメディア論

コミュニケーション科目

社会的コミュニケーション基礎論
心理学的コミュニケーション基礎論

異文化コミュニケーション基礎論

マス・コミュニケーション基礎論

情報科目

情報と職業

情報社会と人権 情報倫理

リサーチスキル科目

研究方法科目

研究方法基礎論

研究方法A (事例研究法)
研究方法C (サーベイ・アンケート研究法)

研究方法B (文献研究法)
研究方法D (実験研究法)
研究方法E (オペレーションズ・リサーチ)

データ解析科目

基礎数学A
基礎数学B

データ解析基礎I (統計学基礎)

データ解析基礎II (統計学)

データ解析A (多変量解析)
データ解析B (回帰分析)
データ解析C (データマイニング)

情報処理スキル科目

情報処理基礎
プログラミング1

情報の数理 情報基盤1
記号論理学 プログラミング2

データ構造とアルゴリズム
データベース

コンピュータシステム
情報基盤2

情報セキュリティ

コミュニケーションスキル科目

外国語コミュニケーション科目

集中英語

専門外国語I-A (ディスカッション・ディベート)
専門外国語I-B (ライティング)
専門外国語I-C (リスニング)
専門外国語I-D (ビジネス・イングリッシュ)
専門外国語I-E (TOEIC/TOEFL)

専門外国語II-A (原書講読)
専門外国語II-B (原書講読)
専門外国語II-C (原書講読)
専門外国語II-D (原書講読)
専門外国語II-E (原書講読)
専門英語短期派遣

表現スキル科目

論理的日本語表現
イラストレーションデザイン

プレゼンテーション
非言語コミュニケーション
動画・音声編集

プロジェクト科目

科目A

社会情報学プロジェクトA-1
社会情報学プロジェクトA-2
社会情報学プロジェクトA-3

科目B

社会情報学プロジェクトB

ディレクション科目

メディアと文化

心理学的コミュニケーション論

社会的コミュニケーション論

現代文化とメディア
言語メディア論A

異文化コミュニケーション論
身体メディア論

公務と法律

憲法I 情報法I 行政法I

政府情報システム論
政策情報論 情報政治学

経済と経営

現代経済入門 経済情報論
経営学I 経営学II 経営情報論I

会計学I

自由選択科目

視点領域(社会)(情報)(環境)
ディレクション領域(メディアと文化)
ディレクション領域(公務と法律)
ディレクション領域(経済と経営)

言語学的コミュニケーション論I
理論社会学I 意思決定科学
民法I 行政学I 公共政策論
自然環境論 環境科学演習
地域社会生活論I 経営戦略論
経営情報論II 経営学II

集積的選択論 民法II 政策分析
経済法・知的財産法I 生物環境論
国際経営論 理論社会学II 憲法II 行政法II
情報法II 行政学II 地域社会生活論II
生活経済政策 会計学II 経営科学II
マクロ経済学 ミクロ経済学 金融論

言語学的コミュニケーション論II 地域メディア論
社会心理学 社会倫理I 情報社会と私法 刑法
企業法 環境法I 地方自治A (伝統と改革)
地方自治B (研究と事例) 人間環境論
環境アセスメント 環境アセスメント実習I
民法III 経済法・知的財産法II 経営組織論

言語メディア論B
公法ケース・スタディ(事例・判例研究)
環境アセスメント実習II
環境政策 環境政策実習
社会倫理II 民法IV 環境法II

キャリア教育科目

社会に学ぶ

社会に学ぶ
仕事の現場を知るA (現代金融システム論)
仕事の現場を知るC (情報通信ネットワーク)

社会に学ぶ
仕事の現場を知るB (マスコミ論)
仕事の現場を知るD (地域企業経営論)

社会に学ぶ

社会に学ぶ

特別講義科目

社会情報学特別講義A
社会情報学特別講義C

社会情報学特別講義B
社会情報学特別講義D

社会情報学特別講義A
社会情報学特別講義C

社会情報学特別講義B
社会情報学特別講義D

社会情報学特別講義A
社会情報学特別講義C

社会情報学特別講義B
社会情報学特別講義D

社会情報学特別講義A
社会情報学特別講義C

社会情報学特別講義B
社会情報学特別講義D

社会情報学ゼミ

社会情報学ゼミ

社会情報学ゼミ

卒業研究

社会情報学部
社会情報学科

学部専門科目

1年次

教養科目の履修

群馬大学の授業には、学部別の「専門科目」と、大学全体として開講される「教養科目」があります。大学の卒業には教養科目の単位を取得しなくてはなりません。早い段階での履修が期待されている科目が多く、1年次には教養科目の割合が高くなります。

社会情報学部生が学ぶ教養科目は、全学生が共通履修する基礎的で普遍的な「**全学共通科目**」が中心です。全学共通科目は、学びのリテラシー、英語、スポーツ・健康科学といった「**教養基盤科目**」と、その他の幅広く深い教養、総合的な判断力、豊かな人間性の涵養を目的とする「**教養育成科目**」に分かれます。教養科目では他学部の学生とも一緒に授業を受けるため、さまざまな考え方に触れることができます。



学びのリテラシー

代表的な教養科目のひとつに「**学びのリテラシー**」があります。学修の基本的な方法を身につけるための科目で、(1)と(2)に分かれます。

「**学びのリテラシー (1)**」では、最初に、大学生に必要とされる日本語について講義や演習を通して学びます。その上で、自ら選んだテーマについて情報を集めて吟味し、互いに議論し体系化してそれぞれの考えを確立するというプロセスを体験します。

「**学びのリテラシー (2)**」は少人数のゼミ、講義、演習の形でいき、各教員が専門としている分野を中心に、課題の見つけ方、分析の仕方、発表の方法、文章のまとめ方などを修得します。さらに、各学問分野に共通の思考力・判断力・表現力等の向上を目指します。「**学びのリテラシー (1)**」で学んだことを活かし、本格的にディスカッションやプレゼンテーションを行う授業が多く開講されています。

英語/スポーツ・健康科学

英語も大切な教養科目です。1年次だけでなく、2年次まで年間を通して学びます。群馬大学には TOEIC のスコアによって教養の英語の単位が認められる仕組みもあり、680 点で2単位、750 点で4単位になります。TOEIC は就職活動でスコアシートの提出が求められる場合があり、1年次から計画的に受験して結果を残しておくとういでしょう。社会情報学部の1年生は、1月に群馬大学で TOEIC を受験できます。教養教育とは別に、2年次から専門外国語という専門科目の英語の講義もあります。社会情報学部では、英語は避けて通れない重要科目です。

スポーツ・健康科学は、専門教育にはない教養教育ならではの科目です。トランポリン・ジョギング・バスケットボール・サッカー・ゴルフなど、色々なスポーツ活動があります。シーズンスポーツという科目では、通常の授業の代わりに夏休み・冬休みの数日間を利用して登山やスキーなどをします。観光も楽しみながら履修できるので、毎年多くの学生が参加する人気科目になっています。

学部共通科目

社会情報学部の全学生が履修する「学部共通科目」として、①コア科目、②リサーチスキル科目、③コミュニケーションスキル科目が設置されています。学部共通科目は社会情報学部の専門科目の中心です。1年次から始まり、2年次以降さらに本格化していきます。

①コア科目 (メディア科目、コミュニケーション科目、情報科目等)

専門教育を支える社会情報学的な思考方法を醸成します。

②リサーチスキル科目 (研究方法科目、データ解析科目、情報処理スキル科目)

科学的な思考法と、実践的な情報処理やデータ収集・分析の能力を身につけます。

③コミュニケーションスキル科目 (外国語コミュニケーション科目、表現スキル科目)

外国語によるコミュニケーション能力と、自ら得た知識を分かりやすく説明・伝達する能力を身につけます。

2年次

専門科目の履修

2年次からは専門科目の履修が中心になります。進路希望に沿う形で、「**メディアと文化**」、「**公務と法律**」、「**経済と経営**」の3つのディレクションから1つを選択し、その選択したディレクションの必修6科目の単位を取ることをまず考えます。さらに、ディレクションごとに準備された履修モデルを参考に、その他の自由選択科目を履修していきます。それぞれ自分が関心をもつ科目を組み合わせることで学修を進めます。



社会情報学ゼミの選択

2年次の後期にはゼミ選択を行います。ゼミはゼミナールの略です。3年次に開講される専門科目の1つですが、その選択を2年次の後期に行うのです。各教員がそれぞれ1つのゼミナールを担当しています。大学生活の後半はこのゼミナールが中心になりますので、誰もがよく考えて慎重に選択を行います。

最初にゼミ選択についての全体的な説明会があり、続いて半月ほど、ゼミ別の説明会や見学のための期間が設けられます。所属したいゼミを決めたら、所属希望の書類を提出し、認められるかどうかさらに審査を受けます。希望者が定員を超えてしまった場合など特別な事情がなければ、通常は目標のゼミに所属することができます。ゼミ所属については、できるだけ希望に応えられるように配慮されています。

ゼミを適切に選択するには、そのゼミの教員の授業を色々履修しておくとういでしょう。その意味では、2年次の後期だけでなく、1年次当初から先のことをよく考えて履修する講義を選択していくことが大切です。

ディレクション科目

学生の間に幅広い進路希望があることを考慮し、その実現のため、必要な専門知識を身につけるための3つのディレクション（「**メディアと文化**」、「**公務と行政**」、「**経済と経営**」）が用意されています。ディレクションとは、進路希望に応じて学生が自ら学修を深めるべき方向性を示す履修の緩やかな枠を意味します。

1年次に進路希望に沿ったディレクションを選択し、2年次からは、ディレクション必修6科目の他、ディレクションごとに準備された履修モデルを参考に自由選択科目を学修します。

①「メディアと文化」ディレクション

(理論社会学、社会心理学、社会学のコミュニケーション論、異文化コミュニケーション論など)

マスコミ・メディア産業、企業の広報部門、企画・調査部門などを指すのに適しています。

②「公務と法律」ディレクション

(行政学、公共政策論、行政法、政策分析、地方自治など)

自治体、企業の法務部門、NGO・NPOの企画・調査部門などを指すのに適しています。

③「経済と経営」ディレクション

(会計学、経営学、経営科学、経営情報論、経営組織論など)

様々な企業の企画部門、調査部門などを指すのに適しています。

連携授業

企業の第一線で働く社会人の方々とコラボレーションした授業です。社会情報学部で就職先として希望の多い情報産業、マスコミ、金融業界、地域企業などの部門に合わせて、下記のような科目を設けています。将来の進路を視野に入れた、社会情報学部ならではの実践的なキャリア教育科目です。

①情報産業部門：NTTグループによる「情報通信ネットワーク論」

情報通信とその周辺領域の技術やサービスに関して、「仕組み」から「社会に与える影響」まで幅広く学べます。

②マスコミ部門：上毛新聞社による「マスコミ論」

県域新聞の特徴や課題に関する知識を身につけ、現代社会とジャーナリズムが直面する問題状況を理解することを目指します。

③金融業界部門：東和銀行による「現代金融システム論」

金融業務に長く携わる実務者の現場目線による、日本経済と財政・金融政策、日本の国際協力等についての講義です。

④地域企業部門：前橋商工会議所による「地域企業経営論」

オムニバス形式の講義と見学を通して地元企業の実情を理解します。受講生のキャリアプランの形成に役立ちます。

3年次

社会情報学ゼミ

3年次も2年次と同じく様々な専門科目の授業があります。大きく変わるのは社会情報学ゼミが加わる点です。各ゼミごとに通年でゼミ活動を行います。ゼミは、担当教員の方針によって形式がかなり変わります。専門文献を輪読した後に教員から解説を受け、学生同士で討論を行う形式。受講生が割り当てられたテーマについて毎回調査・報告を行い、それを踏まえて受講生全員で議論を行う形式。また、課外活動やゼミ合宿、ボランティアなどを通して特定の分野を学ぶ形式もありますし、こうした形式を組み合わせる場合もあります。ゼミによっては、地域に焦点を当てて実際に様々な地域活動を行う場合もあります。東日本大震災の復興ボランティアなどを精力的に行っているゼミもあります。



インターンシップ

インターンシップは、自分の就職に関係しそうな企業や官公庁で就業体験を行うものです。基本的に3年次に参加します。3年次の前期に事前説明会や事前講習などが開かれ、その上で、夏休みなどの長期休暇を利用して、数日間から数週間をかけて実際の就業体験をします。インターンシップでは、単に社会人の方々と話を聞くのとは違い、就業現場のやりがいや苦労を実際に感じることができます。また、インターンシップに参加すると、将来の就職についてもより具体的に考えられるようになってきます。こうした機会に自分が興味を持つ分野について理解を深め、さらに大きな意欲を持てるようになればとても有意義でしょう。あるいは、あえてそれまで興味を持っていなかった分野のインターンシップに参加して、そうした分野の新しい魅力を発見していくのもよいでしょう。インターンシップ参加後には、次の学年の皆さんにその体験を伝えるインターンシップ体験報告会も開かれます。実際に参加した3年生から率直な感想を聞こうと、1年生・2年生の皆さんが集まってくれます。

4年次

卒業研究

4年間の集大成として、自分の興味・関心や問題意識に基づき卒業研究を行います。社会情報学部に入學して蓄積してきた様々な知識や技能を存分に生かし、自ら選んだテーマの研究を自らの力で完成させ、他の多くの学生や教員の前で発表します。

就職活動

2016年3月の卒業生から就職活動の解禁日が4年次の4月となっています。4年生は、かなりの時間と努力を就職活動に振り向けなくてはなりません。社会情報学部の就職率は良好ですが、油断せず、1年次、2年次のうちからできるだけ自分を磨いておくとういでしょう。

一般企業の就職試験では、筆記試験や面接等に加えて適性検査を行う場合があります。一般教養の対策や自己PRの練習だけでなく、SPI (総合適性検査) などへの対策も大切です。

公務員を目指す人の場合、4年生の5月から公務員試験が行われます。公務員試験の勉強と一般企業への就職試験の勉強は少し方法が異なるので注意しましょう。数的処理や文章理解、法律、経済などの問題の他にも、幅広い一般知識の問題への対応が大切です。領域ごとの出題数は少ないのですが、そうした1、2問ずつしか出題されない幅広い問題に対応するため、長い時間をかけて準備していく必要があります。



教員一覧

このページでは、社会情報学部の先生方を紹介します。先生方の専門・担当科目・研究内容を五十音順で一覧にしました。社会情報学部ではさまざまな専門分野を学修できる環境が整っています。ぜひ皆さんも自分の興味がある分野を見つけてみましょう。

《担当科目の見方》

- : ディレクション科目
- : リサーチスキル科目
- : コア科目
- : 自由選択科目

名前
◎専門

●担当科目

研究内容

新井康平
Arai Kohei

◎専門
会計学
原価管理 他

●会計学Ⅰ・Ⅱ ●情報と職業 他

日々のいろいろな活動を財務数値で測定するのが会計学である。この会計学の知識をどれだけ持っているならば、適切な意思決定ができるようになるのかを研究している。

石川 真一
Ishikawa Shinichi

◎専門
生態学
環境科学 他

●生物環境論 ●環境政策実習 他

温暖化や地域開発で生じた環境問題解決のための、生物多様性の保全・外来生物の抑制、地域生態系再生、ピオトープの育成管理方法の研究をしている。

伊藤 賢一
Ito Kenichi

◎専門
理論社会学
社会学史

●社会学的コミュニケーション論 ●理論社会学Ⅰ・Ⅱ 他

情報社会とはどのようなものか社会学の理論を使って探究している。情報技術によって私たちの生活は便利で快適になっているはずなのに、人々の満足度は必ずしも高くない。その理由を探っている。

井門 亮
Ido Ryo

◎専門
言語学
語用論 他

●言語学的コミュニケーション基礎論 他

「話し手が発したことを、聞き手はどのように解釈しているのだろうか」という疑問をもとに、言語学の1分野である語用論の観点から、ことばの意味やコミュニケーション、発話解釈の仕組みについて研究している。

岩井 淳
Iwai Atsushi

◎専門
情報工学
社会学

●データ構造とアルゴリズム 他

インターネットの社会利用について研究している。例えば、電子的なコミュニケーションの匿名性やストレスの問題、大勢で電子的に相談して何かを決める際の手続きの問題などについて考えている。

大野 富彦
Ohno Tomihiko

◎専門
経営学
経営組織

●経営学Ⅰ・Ⅱ ●経営組織論

企業の成長プロセスに関心がある。最近、企業が顧客や従業員の「声」をどのように活かして事業を行い、価値を生み出すかについて、「経営組織論」-特に「場のマネジメント」という分野から研究している。

柿本 敏克
Kakimoto Toshikatsu

◎専門
社会心理学
グループ・ダイナミクス

●心理学的コミュニケーション論 ●社会心理学 他

地球規模の環境問題をシミュレートする「仮想世界ゲーム」の中で学生たちに集団内・集団間のさまざまな競争や協力を体験してもらいながら、そのダイナミクスを探っている。

河島 基弘
Kawashima Motohiro

◎専門
社会学
比較文化論 他

●現代文化とメディア ●マスメディア論 他

日本で空前のペットブームが起こり、テレビでも「可愛い動物」を特集した番組が頻りに作られる一方で、それが動物の全般的な福祉向上に結び付かない理由を、歴史・現代社会論・比較文化論の視点で研究している。

北村 純
Kitamura Jun

◎専門
行政学
地方自治論

●政府情報システム論 ●行政学Ⅰ・Ⅱ 他

行政学・地方自治論。理論と実証の面から「国と地方の関係」の政策過程分析、特に歴史的新制度論に基づいて、行政学と社会情報学を結びつける課題として政府情報システムおよび公文書管理改革の研究に取り組んでいる。

小竹 裕人
Kotake Hiroto

◎専門
公共政策論
政策評価論

●政策情報論 ●政策分析 他

例えば、少子化社会における大学への進学率を維持するために増やすのは、奨学金の貸与額なのか大学への補助金なのか、教育に関する過去の40年間のデータからモデル化し将来推計を行い最適な政策を選択するという研究などを行う。

税所 哲郎
Saisho Tetsuro

◎専門
経営情報学
経営戦略 他

●経営情報論Ⅰ・Ⅱ ●国際経営論 他

現代企業の情報通信技術を活用したビジネス・イノベーションに関する研究、情報化社会を安全・安心に利用できる情報セキュリティに関する研究、アジアを中心とした産業クラスター、産業集積に関する研究をしている。

坂本 和靖
Sakamoto Kazuyasu

◎専門
計量経済学
労働経済学

●現代経済入門 ●経済情報論 他

数量データを用いて、ファミリー・フレンドリー施策などの制度導入が就業者の行動・満足度どのような影響を与えているのかを計量経済学的手法で検証しながら、望ましい働き方・家庭生活の在り方について研究している。

佐渡 一広
Sado Kazuhiro

◎専門
情報科学

●プログラミング ●情報システムとネットワークⅠ・Ⅱ 他

インターネットを利用した教育や各種のサービスについてのSNS・アンケート・投票といったツールの活用方法や開発、またこれらにかかわるセキュリティなどについて研究をしている。

末松 美知子
Suematsu Michiko

◎専門
表象文化論
英米演劇

●身体メディア論

演劇、ダンスなどのさまざまな舞台表象について、社会的・歴史的背景や現代社会における意味などを研究している。舞台表象誕生の背景・特色を探る過程で、社会やそこで生きる人間の姿が明らかとなる。

杉山 学
Sugiyama Manabu

◎専門
オペレーション・リサーチ

●経営科学Ⅰ・Ⅱ ●経営戦略論 他

オペレーション・リサーチ(OR)や経営科学(マネジメント・サイエンス: MS)と呼ばれる学問分野を主に研究している。また、現在は「わが国の電力自由化後における電力各社の生産性に対する時系列評価」というテーマの研究をしている。

高山 利弘
Takayama Toshihiro

◎専門
言語文化
日本文学

●言語学メディア論 A 他

説話や伝承の解説に基づく日本文化の研究、軍記物語および歴史物語の成立と展開、文学テキストや記録文献における情報の解説を行っている。

富山 慶典
Tomiyama Yoshinori

◎専門
意思決定科学
社会的選択論

●意思決定科学 ●集合的選択論

複数の人々の異なる意見はどのような手続きで1つに集約すればいいのか。手続きのメカニズムなどを解明すると同時に、情報通信技術の活用を考慮しながら、この問いに答えようとする集合的意思決定の研究をしている。

西村 尚之
Nishimura Naoyuki

◎専門
森林生態学
森林保全学

●人間環境論 ●環境アセスメント 他

森林には自然災害防止や生物多様性維持などの多様な環境保全機能があり、現在、森林の保全は社会全体の責務であると考えられている。そこで、長期間の野外観測から森林のさまざまな変化を早期に察知し、森林の適正な保全に関わる科学的知見を提供するための研究を行っている。

西村 淑子
Nishimura Yoshiko

◎専門
行政法
環境法

●行政法Ⅰ・Ⅱ ●環境法Ⅰ・Ⅱ

行政訴訟の訴訟要件や公害被害の司法救済に関する研究をしている。近年は、原発事故による被害者の法的救済のあり方について関心を持っている。

平田 知久
Hirata Tomohisa

◎専門
社会学
社会史
近・現代思想

●情報社会基礎論

東(南)アジアにおける現代情報メディア技術の普及・伝播について、これまでの情報メディア技術の普及・伝播との比較から、双方の共通点と差異を考察し、今後の情報メディア社会のあり方を模索する研究を行っている。

藤井 正希
Fujii Masaki

◎専門
憲法学

●憲法Ⅰ・Ⅱ ●情報社会と人権

情報社会におけるマスメディアのあるべき姿を憲法的に研究。また、生存権を積極的に活用し、格差社会や貧困社会に対処する方法を研究。最近、憲法9条の解釈と集団的自衛権の可否の研究にも力を入れている。

前田 泰
Maeda Yasushi

◎専門
民法学

●民法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

未成年の子への医療行為に親が同意することは親権者の代理行為とみるべきか、法定代理権が成立する基礎となる親子関係の決め方の問題など、これらを法廷代理の視点から研究する。

松宮 広和
Matsumiya Hirokazu

◎専門
経済法
知的財産法 他

●情報法Ⅰ・Ⅱ ●経済法・知的財産法Ⅰ・Ⅱ

経済法、知的財産法および情報法の観点から、科学技術の発展が既存の法制度に与える影響を情報通信の領域を中心に研究している。

森谷 健
Moriya Takeshi

◎専門
地域社会学
都市社会学

●地域社会生活論Ⅰ・Ⅱ

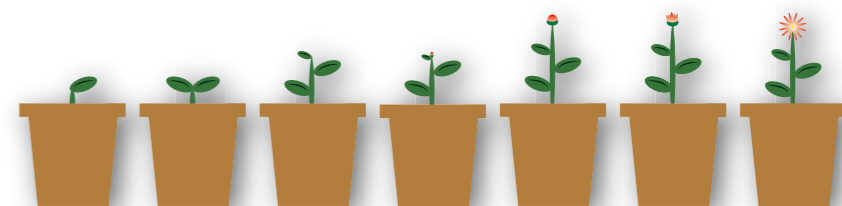
地域情報や地域メディアに関する諸説の検討、個人の情報行動が地域づくりに結びつく可能性の検討、ボランティア、NPOなど市民活動による自治的コミュニティの可能性を研究している。

山内 春光
Yamauchi Harumitsu

◎専門
日本倫理思想史
倫理学 他

●論理的日本語表現 ●社会倫理Ⅰ・Ⅱ 他

『古事記』神話でスサノヲはなぜ泣くのか、夏目漱石の『心』でKはなぜ自殺したのか、また神戸連続児童殺傷事件の犯人はなぜ事件を起こすに至ったのか、などについて、倫理思想の観点から研究をしている。





齋藤 由乃 Saito Yuno
情報行動学科 4年
下館第一高等学校(茨城県)
比較文化社会学研究室(河島研究室)

視野を広く持つ

私は、幼少期からテレビ番組や雑誌が好きで、漠然とメディアというものに興味を持っていました。そして、メディアというものを様々な視点から考えることができ、また、ゼミ生同士で話し合うことで理解を深めるという形式に惹かれ、このゼミを選びました。ゼミでは、社会学の様々な分野について書かれたテキストを用いて、割り振られたテーマに沿って一人ひとりがレジュメを作成し発表します。テーマは、「教育」「地域社会」「ジェンダー」「情報」など主に教科書を基に要点をまとめ、自分で調べた内容を補足します。発表者はその日の討議テーマを決め、それに沿ってゼミメンバーで話しを行います。私のゼミでは、個性が強いメンバーが集まっていて、真剣に意見をぶつけ合う時もあるけれど、雑談のような和やかな雰囲気でも話す時があったりと毎回活発な話しが行われています。自分とは違った視点から見た意見を聞ける時間はとても貴重で、社会学の知識とともに人間性も深めていけるゼミだと思います。今後もゼミを通してメディアについて幅広く学びながら、将来の目標を具体化していきたいです。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			理論社会学	集合的選択論	
2		経営科学			コミュニケーション論
3	社会倫理I	マスコミ論		情報文化論	民法
4		専門外国語		言語メディア論	
5				ゼミ	視覚メディア論



関 一平 Seki Ippei
情報社会科学科 4年
作新学院高等学校(栃木県)
会計情報分析研究室(新井研究室)

基本を大切に

「読み書きそろばん」。江戸時代の寺子屋では数字の計算がありました。広く民衆で学ばれていたそろばんは、やがて形を変え企業の財務を計算する時に使用されます。現在、株式会社では財務情報の公開が義務づけられています。それらのデータを統計学を用いて解析するのが私の研究室です。しかし、企業の財務諸表の読み取りは単に数字だけでは分かりません。経済情勢、社会問題、法律の整備などあらゆるものが起因して数字に表れます。それらを学ぶために、日々の講義でも他の学問領域を履修しています。そこで得られた知見が専門分野に活かされるからです。とはいうものの、土台となる会計の知識はなによりも重要です。今でも時折過去の講義の資料を読み返し知識が抜けるのを防いでいます。専門領域を突き詰めるには基本の徹底が欠かせません。社会情報学部を志望する皆さんもぜひ「読み書きそろばん」から基本に立ち返り、人生を生き抜くための土台作りを私達と一緒にしてみませんか。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	経営学II			統計学II	
2	政治学概論	経営科学I	経営戦略論		環境法I
3		会計情報システム	マルチメディアI		行政法I
4		計量経済分析			
5		ゼミ			

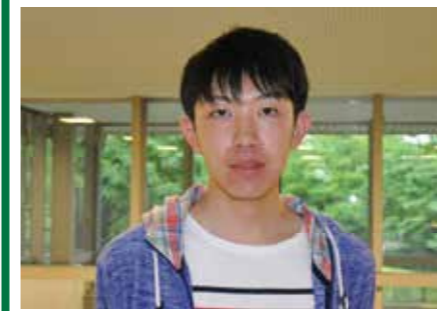


石坂 麻衣子 Ishizaka Maiko
情報社会科学科 3年
渋川女子高等学校(群馬県)
憲法学研究室(藤井研究室)

「考える」を形にする

私は高校の頃、学校の現代社会の授業を受ける中で、法律、政治、経済に興味を持つようになりました。大学を選ぶ際、その全てを学びたいと思い、たどり着いたのが群馬大学社会情報学部でした。社会情報学部の魅力は、多角的に学びながら、専門性も高めることができることです。私は憲法学のゼミに所属していますが、法律だけでなく、政治や経済、経営の授業も履修しています。そうすることで、他分野からの法律に対する視点を持つこともできます。ゼミは学生自ら憲法の問題の中で興味のあることを発表し、それについて議論するという形式で行っており、その中で憲法の判例や学説についても学んでいます。さまざまな意見の人がいる中で、自分の考えを論理的に構築していくのは難しいですが、とてもやりがいがあります。また、先生や他のゼミ生と意見を交わすことで視野も広がります。最近、「集団的自衛権の行使」についての議論をしました。憲法はたった103条しかありませんが、学ぶたびに新しい発見があり、いつも新鮮な気持ちで取り組んでいます。社会情報学部は自分次第で何事にもチャレンジできる学部だと思います。みなさんも社会情報学部で大学生活を送ってみませんか。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1		人間環境論			
2		経営科学I	企業法I		環境法I
3	専門外国語			情報社会と人権	民法I
4	行政学II	会計学II	政治理論	人間関係論	
5				ゼミ	



黒澤 弘樹 Kurosawa Hiroki
情報行動学科 3年
館林高等学校(群馬県)
意思決定科学研究室(富山研究室)

「興味」のその先へ!

私は入学前、情報技術を用いて人々を支援するような職業に興味があったためこの学部を選びました。講義を受けたり、大学生活を過ごす中で支援される側である人の行動に対する興味が強まったため意思決定科学研究室に決めました。このゼミでは社会学に関するテキストを元に各回ゼミ生1人がホスト役になって学問のやり方を実践的に学び、その後各自の興味にしたがって疑問や課題を提起し、ゼミ生全員で議論する形式で行っています。「自ら考え、考えを共有する」という方式の学びはゼミで初めて触れたため戸惑いもあったのですが、今ではゼミのアットホームな雰囲気の中で積極的に意見を出し合えるようになりました。私は社会情報学部の授業だけでなく資格取得のために教育学部の授業を受け、それに加えサークル活動にも力を入れています。そのような活動を通して学部学年を越えたつながりができ、さまざまな知識や価値観に触れることができました。大学生活で興味を持ったことにはまず積極的に飛び込んでみて、それを学問分野に持ち込んで、とことん「なぜ？」を追求してみるのもおもしろいと思います。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			理論社会学I	集合的選択論	
2		経営科学I		公共政策論	中等カリキュラム開発論
3	社会倫理I	プログラミングII	歴史情報論	生徒指導生活指導	情報数学
4		コンピュータシステム		言語メディア論A	財政学
5	憲法I	ゼミ			



就職支援 / 進路状況

時代のニーズに対応した人材を輩出している社会情報学部。卒業生達は社会情報学部で得た、物事に対する多角的な視点や情報社会の変化に対応するための知識を生かし、それぞれの分野で活躍しています。ここでは学生に対しての就職支援や、卒業生の進路状況などについて紹介します。

就職支援スケジュール

1・2年 3・4年

5月	7月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月
1・2年生のための公務員基礎知識講座	1・2年生のためのキャリアデザイン講座	インターンシップ事前説明会 公務員試験直前対策講座 (4年生・院2年生対象)	公務員試験対策講座(3年生・院1年生対象)	就職活動フォローアップ講座 職務適正診断テストおよび一般教養模擬試験 (4年生・院2年生対象)	就職活動スタートアップ講座 インターンシップ実習事前講座 入社試験等のアドバイス説明会 女性のためのキャリアデザイン講座	就活ドキュメント講座	企業研究講座 Part1・Part2 自己分析講座 Part1・Part2 インターンシップ体験報告会	企業研究講座 Part1 エンタリーシー講座 Part1・Part2 面接講座 Part1・Part2	就職活動体験発表 面接講座 Part1 公務員等採用試験及び業務概要説明会

キャリアサポート体制

キャリアサポート室

キャリアサポート室ではさまざまな就職の相談に応じています。対象は主に学部3年生や大学院1年生です。それ以外にも、早い段階から就職を視野に入れられるような就業力育成支援の取り組みを行っています。例えば、就職に関するガイダンスやセミナーを開催したり、インターンシップを実施しています。群大就活手帳や職務適性診断システムなどの提供も行っていきます。室内では求人票や企業案内の閲覧、本学に提供された企業情報の検索などができ、また、就職に関する書籍の貸し出しなども行われます。キャリアカウンセラーによる相談などもあり、総合的なサポート体制が整っています。

キャリアカウンセリング

就職の相談に応じるため、キャリアカウンセラーが配属されています。キャリアカウンセラーは、就職だけでなく、例えば生涯設計を考えての履修科目選択など、幅広い相談に応じることができる専門家です。是非、気軽に相談をして下さい。

社会情報学部の 特徴ある就職支援セミナー

本学部では毎年、外部から講師を招き公務員試験対策セミナーを開催しています。過去問を中心とした実践的な内容で、今年は10月から12月にかけて全18回開催の予定です。公務員を目指そうとする人は早めの心構えが必要です。早くからこうしたセミナーに参加していくのがおすすめです。

インターンシップ

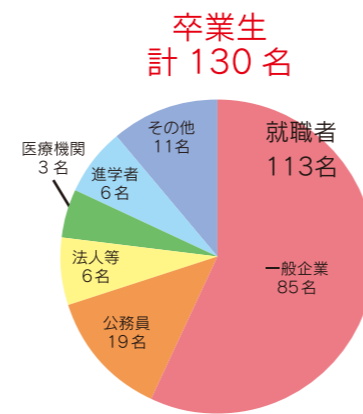
在学中に企業や官公庁で就業体験を行うインターンシップでは、本当に貴重な経験が得られます。2014年度の社会情報学生の参加者は78名でした。P.11のインターンシップの欄もご覧下さい。

インターンシップ 受け入れ先例

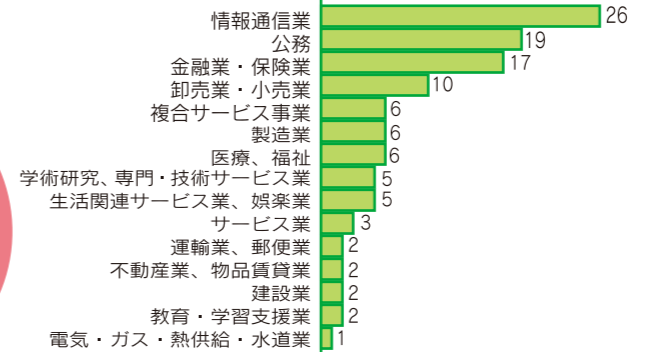
- | | |
|-------------------|---------------|
| 群馬県庁 | (株)群馬銀行 |
| 長野県庁 | (株)東和銀行 |
| 群馬県 | (株)岩手銀行 |
| 前橋市役所 | (株)上毛新聞社 |
| 高崎市役所 | (株)群馬テレビ |
| 伊勢崎市役所 | (株)山形放送 |
| みどり市役所 | (株)朝日印刷工業 |
| 伊勢崎市役所 | (株)アルファー企画 |
| 渋川市役所 | (株)煥乎堂 |
| 館林市役所 | (株)桐生タイムス |
| 太田市役所 | (株)群馬日産自動車 |
| 富岡市役所 | CTC/isiD/日本総研 |
| 熊谷市役所 | (株)CRI 中央総研 |
| 酒田市役所 | 熊川次男総合法律事務所 |
| みなかみ町役場 | (株)ティースタンド |
| 前橋市役所 | |
| 前橋市国際交流協会 | |
| 群馬県選挙管理委員会 | |
| 群馬県生涯学習センター | |
| 佐波伊勢崎農業協同組合 | |
| (公財)群馬県観光物産国際協会 | |
| (株)JTB 関東 法人営業事務所 | |
| (株)野村證券 高崎支店 | |
| (株)富士ゼロックス群馬 | |

卒業後の進路

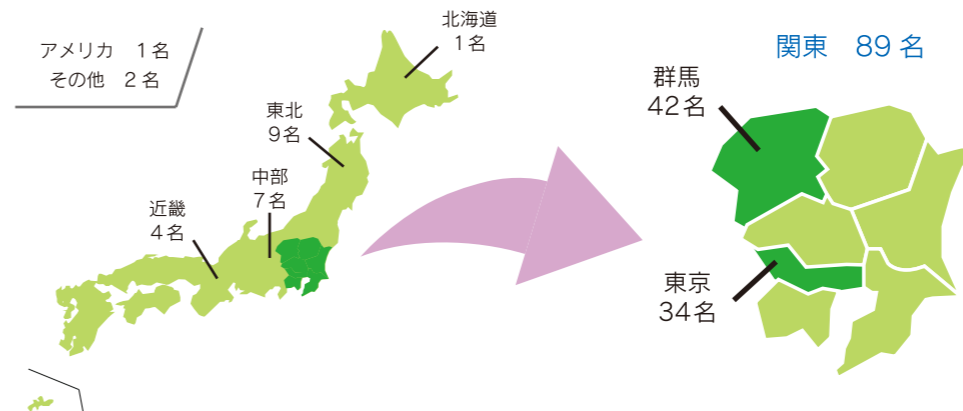
卒業生の進路



業種別就職者数



地域別就職者数



大学院

- 群馬大学大学院社会情報学研究所
 - 神戸大学大学院国際文化学研究所
 - 早稲田大学大学院経済学研究所
 - 電気通信大学大学院情報システム学研究所
- ※2012~2014年度卒業生

群馬大学大学院 社会情報学研究所

本学部の上にある大学院の社会情報学研究所は、社会情報学の深化を目指し、行政、企業、NPOなどの組織における意思決定に具体的・実践的に関与できる高度専門職業人の育成と、人間と情報社会の諸問題や各組織のあり方を考究できる実践的研究者の養成を目的とするものです。講義は昼夜開講されているため、研究機関、官公庁、企業および地域などで活躍している社会人が夜間の講義を受講するだけでも課程を修了できます。学費2年分で3年間ないし4年間かけて課程を修了する長期履修制度も整っています。積極的に外国人留学生の指導も行っており、国際社会への貢献にも力を入れています。

主な就職先

就職率 *95.8%(113/118)

*(就職者/(卒業生-(進学者+資格試験準備者など))

- | | | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 【公的機関】
防衛省
群馬県
前橋市役所
伊勢崎市役所
みどり市役所
渋川市役所
富岡市役所
館林市役所
新潟市役所
中野区役所
栃木県警察 | 【情報通信業】
(株)総合PR
(株)ティージー情報ネットワーク
コンピュートロン(株)
システム・アルファ(株)
(株)両毛システムズ
アイコミュニケーション(株)
(株)カルテットコミュニケーションズ
キャスレーコンサルティング(株)
富士通エフサス(株)
(株)デーリー東北新聞社
ケーブルテレビ(株)
(株)高崎共同計算センター
(株)ナブアシスト
日本情報産業(株)
セコムトラストシステムズ(株) | 【不動産業・物品賃貸業】
(株)サンシャインシティ
東京センチュリーリース(株) | 【医療・福祉業】
(株)ぐんま厚生会
社会福祉法人 雄勝福祉会
群馬中央医療生活協同組合 |
| 【金融・保険業】
(株)群馬銀行
(株)東和銀行
(株)東邦銀行
(株)かんぽ生命保険
損保ジャパン日本興亜(株)
日本生命保険相互会社
野村證券(株)
三井住友海上あいおい生命保険 | 【卸売・小売業】
(株)とりせん
(株)関東マツダ
リコージャパン(株)
(株)マツモトキヨシ甲信越販売 | 【複合サービス事業】
日本郵便(株)
JA北群渋川
群馬県民共済生活協同組合 | 【生活関連サービス・娯楽業】
サンボウ(株)
近畿日本ツーリスト(株)
(株)ビジョナリータンク
(株)日本旅行 |
| 【製造業】
富士エンチニアリング(株)
上越印刷工業(株)
(株)浅野製版所 | 【運輸業・郵便業】
東日本旅客鉄道(株) | 【学術研究・専門・技術サービス業】
(株)サウザンドクレイン
(株)日宣メディックス
(株)スタジオアリス
日本エス・エイチ・エル(株) | 【電気・ガス・熱供給・水道業】
(株)ヤマニ熱工業 |
| 【サービス業】
(株)マイワーク | 【建築業】
積水ハウス(株) | 【教育・学習支援業】
(株)湘南ゼミナール | |



卒業生インタビュー

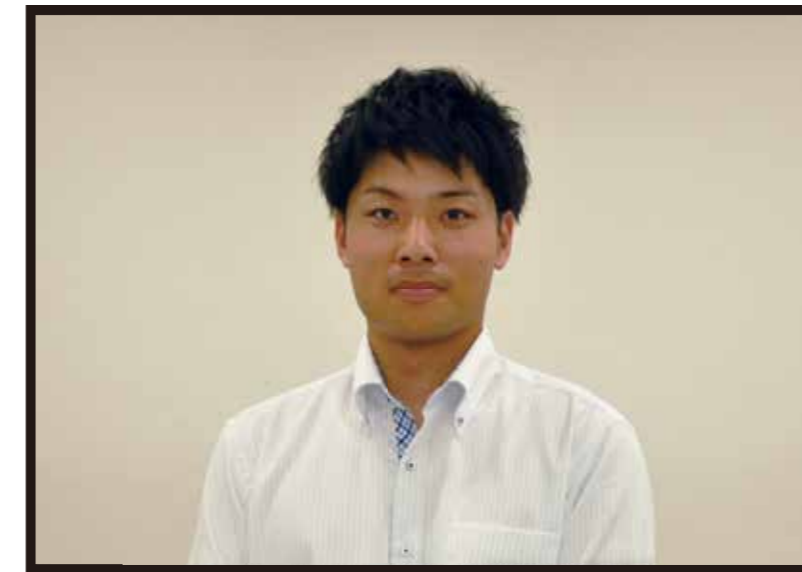
社会情報学部を卒業した先輩方は、さまざまな分野で活躍しています。先輩方は大学での4年間で何を学び、何を経験してきたのでしょうか。社会情報学部で目標を見つけ、それを実現した卒業生に語っていただきます。



ケーブルテレビ
株式会社 勤務

石坂優衣さん
Ishizaka Yui

卒業年度：2014年度
学科：情報社会学科
出身高校：高崎女子高等学校(群馬県)
出身研究室：社会心理学研究室
(柿本研究室)



前橋市役所
勤務

原雅人さん
Hara Masato

卒業年度：2014年度
学科：情報社会学科
出身高校：太田高等学校(群馬県)
出身研究室：憲法学研究室
(藤井研究室)

社会情報学部への入学の決め手

私は高校時代、将来やりたいことや就きたい職業など正直何も考えていませんでした。そんな私にとって、1つの分野に捉われることなくさまざまな事柄を学ぶことができる社会情報学部はとても魅力的でした。やりたいことが何も分からなかったからこそ、さまざまなことに興味を湧き、やってみたくと思ったことには何でもチャレンジすることができました。そのようにして4年間を過ごすうちに自分のやりたいことも見付き、今の仕事にもつながっています。

就職するまでの過程

冊子制作の経験から、広告代理店や印刷会社を中心に面接を受けていましたが、就職活動を進めていくうちに、自分が本当にやりたいことは印刷物を作るのではなく地域の魅力を伝えることだと気付きました。そこで地域の情報番組を自社で制作している、地域密着のケーブルテレビ局に就職することを決めました。番組制作に興味を持って入社しましたが、大学時代の経験をかっていただき、パンフレットや広告を制作するグループに配属されました。会社や地域の魅力を存分に伝えられるように、日々勉強を重ねています。

1年生

春：音楽系サークル
マンドリンソサエ
ティ、冊子制作団
体 SIJ に入部

2年生

秋：SIJ 編集長に就任
(1年間)
冬：マンドリンソサエ
ティ指揮者に就任
(2年間)

3年生

春：柿本ゼミに所属

4年生

冬：卒業論文提出

自分の『軸』が見つかる瞬間

学生時代に力を入れて取り組んだこと

2年生のときには冊子制作団体 SIJ で編集長を務めました。SIJ では、企画から取材・編集までを全て自分たちで行っています。群馬の魅力を再発見しようと、群馬のマイナースポットを紹介する“大学生向け観光誌”を企画し、制作しました。また、2・3年生のときに音楽系サークル「マンドリンソサエティ」で指揮者を務めました。定期演奏会の観客動員数をUPさせること、演出を工夫してお客さんを楽しませること、親しみやすい指揮者になることを目標として掲げ、70人の仲間と共に定期演奏会を成功させました。

社会情報学部を進路として考えている 高校生にメッセージ

冊子制作がきっかけで広告に興味を持ち、ゼミでも広告をテーマに卒業研究を行いました。そうした大学時代の経験が今の仕事に直結しています。高校時代は何も考えていなかった私でも社会情報学部で自分のやりたいことを見つけ、その実現に向かってここまで突き進むことができました。やりたいことがないということをマイナスに捉えずに、やりたいことを見つけるために何にでも挑戦してみてください。それをできるのが幅広く学ぶ環境のある社会情報学部だと思います。

社会情報学部への入学の決め手

色々な分野を学ぶことができ、好奇心のある私に合っていると思ったからです。法律を学びたいという希望が基本にありましたが、それだけでなく幅広く知識の窓口を作っておきたいという考えもありました。社会情報学部の講義の中には経済に関する事柄を法律の面から考えてみたり、その逆があったりと複数の学問に触れつつ先に進めるものがあります。またこのような講義の構成でなくても、多くの分野を学べる科目構成のおかげで複眼的な思考力がつきます。こうした点を魅力に感じ、社会情報学部へ入学しました。

就職するまでの過程

公務員を志望していましたが、公務員一本は危険すぎると感じ、まずは民間企業への就職に力を入れました。当初は交通インフラ系の企業に焦点を当てて努力を重ねましたが、諸般の事情からそのすべてを諦めて就職活動をやり直し、商社や公的機関や金融機関を受け、複数の内定を得ました。その上で公務員試験の勉強に本腰を入れ、試験と面接を乗り切って合格し、公務員になりました。

1年生

秋：一人暮らしを始める
冬：アルバイトを始める

2年生

春：友人とスキー・
スノーボードサークル
を立ち上げる

学生時代に力を入れて取り組んだこと

当然、大学の講義や卒業研究に力を入れたと言いたいところですが、料理に力を入れました。大学の近くでアパート暮らしをしており、自宅を友人たちの寛ぎの場にしたいと考えていました。その手段としてたびたび自宅でパーティーを開きました。大学生のよくあるパーティーとして「たこば」や「鍋ば」がありますが、好奇心のある私は差別化を図ろうと、ラーメンを作る会、うどんを打つ会、ピザを作る会、バウムクーヘンを作る会など変わったことを企画し、そのために作り方を研究していました。

社会情報学部を進路として考えている 高校生にメッセージ

学ぶ分野について多くの選択肢のある学部です。社会情報学部への入学を考えるにあたっては、どの分野の学問を、自分のどのような願望(将来像、人生観、興味関心)に当てはめていきたいのかを吟味しておくのと良いと思います。また、自分の自由な時間の多い学部です。その時間、勉学に勤しむもよし、サークルやアルバイトに勤しむもよし、地域活動に勤しむもよしです。自ら動けば多くの経験を積み多くを学べる可能性のある学部です。受験勉強頑張ってください。

3年生

春：荒牧祭実行委員に
なる
夏：荒牧祭の協賛金集め

4年生

秋：公務員試験合格
友人と卒業アルバ
ム制作委員会を立
ち上げる
冬：卒業論文提出



施設・設備

社会情報学部棟は荒牧キャンパスに1997年に建てられた6階建ての建物です。キャンパス内には他にも教育学部棟、教養教育棟がありますが、その中でも最も高い建物です。全階が吹き抜けになっており、明るく開放感にあふれています。社会情報学部の専門科目の講義は主にここで行われ、普段使う教室はもちろん、他にも学生のためのさまざまな設備が整っています。

エントランス・ロビー

エントランスは2階までの吹き抜けになっている開放的な空間です。1階のロビーは、学生が昼食を食べたり、集まって話をしたり、皆がくつろげる空間となっています。また、パソコンが数台設置されており、自由に利用することができます。



情報処理演習室

4階にはMacintoshが60台、6階にはWindowsが24台設置されています。これらは授業内容により使い分けられており、情報セキュリティ対策も万全なので安心して利用できます。授業時間を除いた8時30分から17時まで入室でき、学生が自由に利用できます。



COMMON ROOM

2階にあるCOMMON ROOMには、専用ソフトがインストールされたMacintoshが設置され、冊子制作やサークル活動など学生による制作活動の中心となっています。また、参考資料などもたくさん保管されており、このパンフレットもここで制作されています。



社会情報学研究センター

2008年10月に発足した社会情報学を専門に研究し、研究成果を集約するためのセンターで、学内外と連携して研究を行っています。また、社会情報学と関連分野の研究資料と図書を収集し、「社会情報学部研究論集」を毎年1巻発行しています。社会情報学シンポジウムなど各種シンポジウムとセミナー企画・開催もしています。



サブエントランス

学生の利用が少ない平日夜間や休日に社情棟に入るとき、エントランスは閉まっていますが、サブエントランスのカードリーダーに学生証を通せば、社会情報学部の学生は出入り可能です。セキュリティは万全となっています。



情報行動実験室

5階にある情報行動実験室は、主に情報行動関連の授業で使用され、サーモグラフィやポリグラフ(嘘発見機)、脳波測定機などの機器があります。これらを用いて、人間が情報をどのように理解するのかを科学的に分析します。



マルチメディア実験室

5階にあるマルチメディア実験室では、高度でクリエイティブな活動が可能となります。CG制作・映像編集・音楽制作などの活動はまさに社情ならではのです。学部内のサークル活動場所としても使用されています。



GUNet

荒牧キャンパスには図書館・食堂・講堂など40カ所の無線LANアクセスポイントが設置されており、社情棟内ではどこでも利用可能となります。このシステムは全国の大学でも初めて導入された最新鋭の規格(IEEE802.11n)のもので、高い通信速度と広いエリアを実現しています。



無線LAN利用可能エリアにはこのステッカーが掲示されています。

就業力・キャリア教育

社会情報学部では、これまで紹介してきた専門科目の修得だけでなく、就業支援のために教養教育科目として「就業力」、専門教育科目として「キャリア教育」を開設し、社会人の準備段階としてさまざまな知識を身に付けることを目指します。

教養教育科目 就業力 学びを構築する

社会情報学が目指す、複雑化し高度化する情報社会の成り立ちを解明し理解するための基本的な概念と研究・学修方法を身に付けます。

また、社会情報学部における諸領域の学問に関係付け、整理できる基礎的能力を身に付けるとともに、自分の将来についての意識を高めます。まず、人間と社会の関係や人間と人間を結び付けている要因、働くこと・学ぶこと・研究することと社会との関係について考え、情報社会で人が生きていくことの本質を理解します。

次に、情報社会の学問的な捉え方について、社会情報学を構成する各種の専門分野を基盤とした手法・知見を学修します。また、個人・組織・集団として情報社会に関する研究や学修を行う方法について、体験的に学びます。



「学びを構築する」の講義の一環 群馬県労働局職員による「労働法セミナー」

学部専門教科・キャリア教育 社会に学ぶ

キャリア教育科目は、社会がどのような人材を求めているかを知り、将来の進路を主体的に選択する意識を高めることを目指す科目として、2013年度から新しく開設されました。この科目では、通常の授業で扱うよりも実践的な分野について、社会人による講演会やセミナーを通して知識を得ることができます。また、主に3年次にインターンシップに参加し、自身が社会の一員であることを自覚するとともに、社会の中で生活するということと働くということの意味を根本から考えます。1年次の後期から4年次の後期までという比較的長い期間をかけて、それらの経験を自分自身の中に蓄積し、現在と未来の自分の可能性を発見することを目指します。また、この科目は配布されるポイントチェックシートを全て達成すれば学科専門科目として単位を取得できます。インターンシップやシンポジウム、公務員講座が単位取得の対象となります。

仕事の現場を知る A・B・C・D

「仕事の現場を知る」は、本学部の専門教育分野と密接に関わり、通常の授業では対応が困難な実践的な分野を学修するために2013年度から企業と合同で開講しました。社会の第一線で活躍する社会人講師によってその分野の最新状況を知るとともに、社会の現場で働くことの意味を学修します。「仕事の現場を知るA」では東和銀行提供の「現代金融システム論」を、Bでは上毛新聞社提供の「マスコミ論」を、CではNTTグループ提供の「情報通信ネットワーク論」を、Dでは前橋商工会議所提供の「地域企業経営論」を開講します。



NTTグループ提供 「情報ネットワーク論」

VOICE

私は仕事の現場を知るCの講義を受けています。この講義ではNTTグループの社員の方に講師として来ていただいているので、実際の仕事の現場の声を生で聞くことができます。私は社会情報学部生の1人として、このように情報通信事業に携わる方から直接社会の中で使われている情報通信の舞台裏を知ることができるのはとても貴重な体験だと感じています。この講義を通して学んだことを、自身のコミュニケーションのあり方や今後のキャリア設計に活かしたいと思っています。



三浦 大亮 Miura Daisuke
情報行動学科 2年

交換留学プログラム

群馬大学では交換留学プログラムを実施しています。ここでは交換留学に関する情報を紹介します。

交換留学制度

手続き

ガイダンスに出席

TOEFL 受験

・選考委員会
・選抜試験

留学先大学へ
願書提出

ビザ申請・
渡航手続き

留学

履修科目認定願
提出

単位認定

選抜方法

TOEFL 受験後、保証人・ゼミ教員(アカデミック・アドバイザー)の了解を得た上で選抜試験の願書を提出し、試験を受けます。この試験に合格すると協定校への派遣の内定が決定します。また、試験科目は日本語面接および、TOEFL のスコアシート提出が必須となっています。選抜試験は7月末、10月末、1月末を予定しています。

単位認定

留学先で取得した単位は、社会情報学部の卒業に必要な単位の一部として認められるので、長期の留学をすることも可能です。留学先大学で本学部に対応する科目が存在しない場合は、自由選択科目として当該科目の単位を認めることができ、語学科目については最大22単位まで認めることができます。

TOEFL

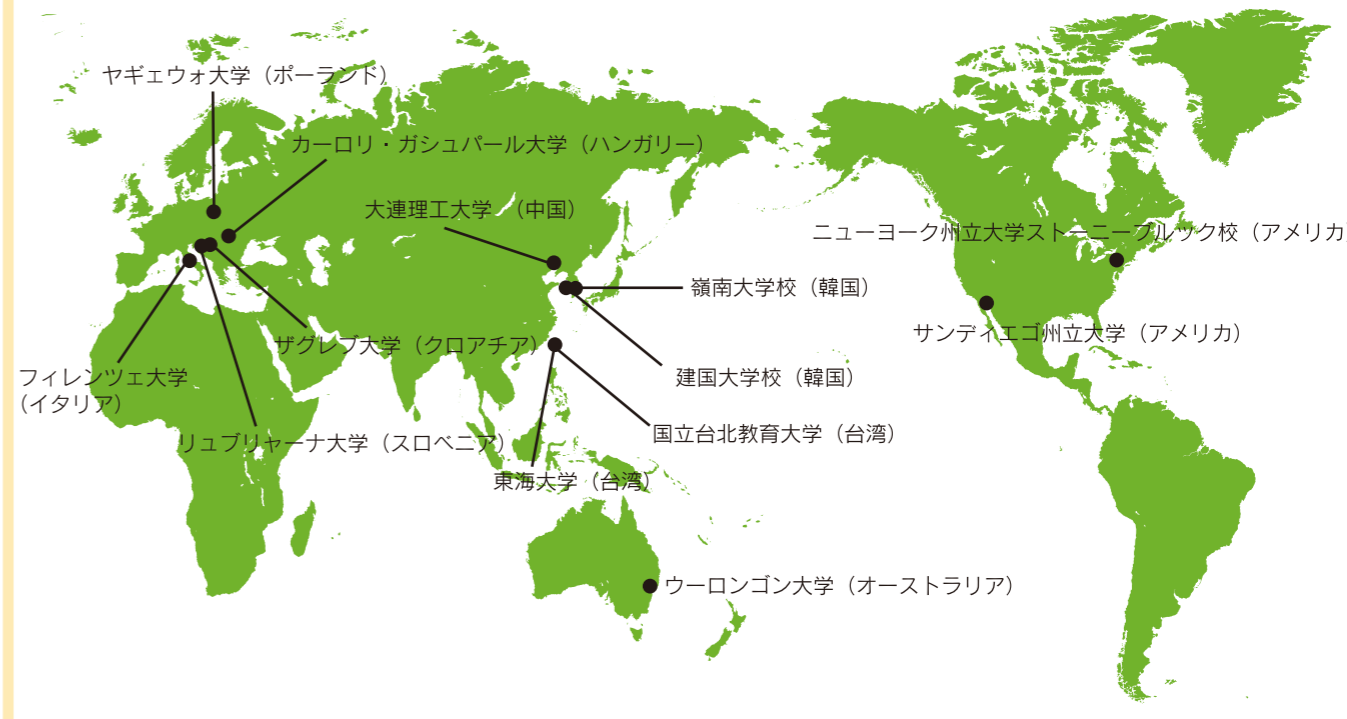
本学部の交換留学プログラムでは、交換留学に必要な TOEFL スコアを設定している大学があるので、TOEFL の受験で英語力を測定します。試験内容は Reading・Listening・Speaking・Writing です。また、試験対応の参考書、外国語の参考書などは貸し出しが可能です。

短期留学

短期研修プログラムは、選抜試験を受けずに参加することができます。サンディエゴ州立大学・嶺南大学・建国大学・ウーロンゴン大学などでは、夏休み春休み中に2週間から1カ月の短期のプログラムを実施しています。

交換留学プログラム実施大学

社会情報学部は主にハンガリー・ポーランド・スロベニア・イタリア・大韓民国・アメリカ合衆国・台湾・オーストラリア等の9大学と国際協定を結び交換留学生制度を設けています。本学部では毎年交換留学生を送り出しています。



Global Frontier Leader コース

群馬大学では、自国及び他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において地球的視野を持って主体的に活動できるグローバルフロンティアリーダー (GFL) の育成に力を入れています。

社会情報学部からは1年生を対象に英語検定 (TOEIC・TOEFL など)・成績・志望理由書・面接などにより10名程度選抜され、学部の学際性を活かした「グローバル教育」を行います。「グローバル教育」とは、世界に学び、それを地域に展開する能力だけでなく、地域中に学び、それをグローバルに展開する能力を持つ人材の養成を目的としています。あなたも世界を牽引するリーダーを目指してみませんか？

コース受講生の選抜

行事の企画・運営・参加
授業の履修

(大学院社会情報学研究科)

グローバルフロンティアリーダー

VOICE

フィレンツェに留学して



○プロフィール
保坂 真名 (Hosaka Mana)
社会情報学部情報行動学科3年
留学先: イタリア フィレンツェ
(フィレンツェ大学
Università degli studi di Firenze)
出身地: 群馬県 渋川市
出身校: 群馬県立中央中等教育
学校

私は高校生の時にボストンに短期留学をしてから、大学では長期留学に挑戦したいと考えていました。交換留学の制度が充実していたことも社会情報学部を選んだ理由の1つです。第二言語で学んだイタリア語を修得したい、また西洋芸術や文化を現地で深く勉強したいと思ったためフィレンツェ大学への留学を決めました。出発前は、実際にイタリア語で会話する機会があまりなかったため、言葉への不安がありました。しかし、半年間、大学附属の語学学校に通い、大学で授業を受けるうちに言語に自信を持てるようになりました。

日本とは全く違う環境に身を置くことは、大変なこともあります。しかし、世界中の仲間と過ごす生活は新しい発見も多くとても刺激的です。留学を通してさまざまな視点から物事を考えられるようになり、自分自身の視野が広がったと思います。留学には準備が大切だと実感しています。あとは心配や不安を吹き飛ばして一歩を踏み出せば、世界がぐっと広がると思います！



日本の冒険

VOICE



高校生の頃、アニメを通じて日本を好きになりました。その時からずっと日本に行きたいと思っていました。日本の歴史・文化、特にポップカルチャーなどに興味を持っていたので、それを体験するのなら日本に行くしかないと思いました。

留学に不安はたくさんありましたが、その一つはやはり自分の日本語の能力でした。コミュニケーションをとれるか、敬語をしっかりと使えるかなどです。周囲の人たちのおかげで現在、日本語の能力は大きな心配ではありません。一人暮らしの生活にも慣れてきました。しかし、家族や友達と初めて離れたので今はとても会いたいです。その一方で、日本でできた友達と離れるのも寂しく感じます。かけがえのない瞬間がたくさんありました。初めてさまざまな国から来た人々と一緒に活動して、仲良くなりました。いつの間にか文化の多様性に気付いて、毎日が新しい知識を得る冒険のようになりました。

留学に興味のある学生はぜひ留学してみてください。すると、人生が一変し、知識が幅広くなります。



○プロフィール
Klavdija Kranjc
(クラウディア・クラウツ)
社会情報学部留学生
出身国: スロベニア
出身校: リュブリャナ大学
Univerza v Ljubljani

Restart

2学科から1学科へと改編し、新たなスタートを切ることになった社情

「自分が進む方向は、自分で選ぶ」

それが、社情のスタイル

つまり、ここでは自分の才能を最大限に活かせるのです

みなさんは、大きな可能性を秘めた芽を持っています

何を学びたいのか、はっきりしていない人も、大丈夫！

社情で自分の芽を見つけましょう！

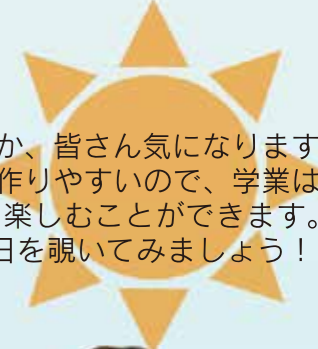
さあ！才能の芽を伸ばそう



Campus

Life

社情生がどんな大学生活を送っているのか、皆さん気になりますよね？社情生は他学部 비해自由な時間を作りやすいので、学業はもちろん、それ以外にもいろいろな活動を楽しむことができます。今回は二人の先輩に密着取材！気になる一日を覗いてみましょう！



社情に進学した理由
私が群馬大学を志望した理由は、国立大学では珍しくメディア関係について学べる社会情報学部があったからです。また、留学制度が整っていたことも理由の一つです。

受験生へ
私が伝えたいことは、大学生活はとても楽しいということです。「頑張っただけで良かった」そう思うには十分すぎるほど周りのものがキラキラしています。今は勉強が辛いかもしれませんが、ぜひ頑張ってください！

前期	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1				社会情報学入門	学びを構築する
2	情報行動論Ⅰ	英語1年	教育臨床心理学	スペイン語基礎	スペイン語基礎実践
3	情報	健康教育	学びのリテラシー		
4		サービスビジネス入門	外国語としての日本語を考える		
5		ぐんま未来学			

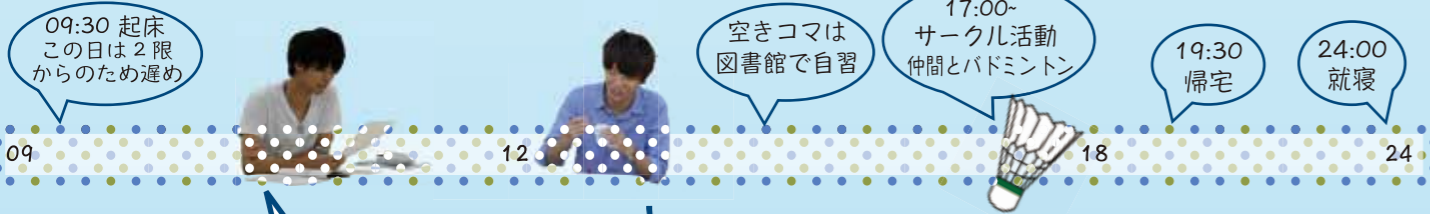


社情に進学した理由
社会情報学部ではさまざまな分野の知識を身に付けることができるという点に魅力を感じたからです。経営学を中心に経済学や政治学なども学びたいと思っていた私にとってぴったりな学部だと思いました。

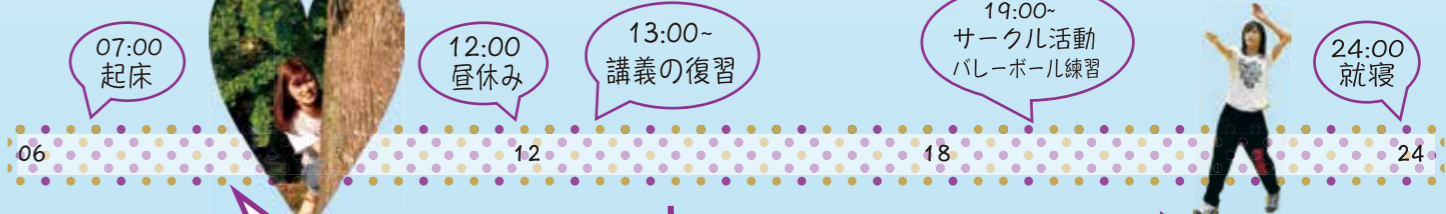
受験生へ
受験勉強はとても辛いと思いますが、今頑張れば楽しいキャンパスライフが待っています。ぜひ、大学生の自分を想像しながら日々の勉強を頑張ってください！

前期	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	経営学Ⅱ	コモンスの政治学	理論社会学Ⅰ		
2		英語2年	経営戦略論	情報メディア論	自然環境論
3	刑法			専門外国語Ⅰ	社会調査論
4			政治理論	人間関係論	行政法Ⅰ
5					

ある1日の予定



ある1日の予定



講義

講義は十数人で受けるものから、100人単位で受けるものまでさまざまです。また、他学部の講義を受けられることも群馬大学の特色だと思います。僕が今一番楽しい講義は「ぐんま未来学」というもので、群馬の未来についてジェンダーやイノベーションの観点から講義を受け、少人数で話し合うというところを行っています。自分とは異なる考えを持った人と関わることはとても勉強になり、知らない人と話し合うことはコミュニケーション能力を飛躍的に向上させてくれます。また、1年次必修の情報の講義などは情報処理演習室でコンピューター(Mac)を使用し、課題の提出も社会情報学部のMoodle上で行います。

勉強

大学の勉強は高校とは大きく異なります。高校までは覚えることに重点を置き、答えは1つだったと思いますが、大学では考えることに重点を置き、答えがいくつもあるような場合が多いです。ディスカッション方式の講義も多く、自ら考え発信する力が身に付けられると思います。

昼食

主に私は学生食堂で昼食を食べています。学生食堂はメニューが豊富で値段も安く、味も美味しいので重宝しています。また、学生食堂には電子レンジが置いてあるので、家からご飯を持ってきておかずだけを購入すると、食費を節約できるのでオススメです！

登校・掲示板チェック

群大生の交通手段は、徒歩や自転車・車・バス・電車などさまざまです。私は毎日自転車で登校しています。1限から講義がある時、早起きは大変ですが講義に遅れないように頑張っています。余裕を持って早めに家を出ることを心掛けています。

講義の休講や奨学金などの重要な連絡は掲示板に貼り出されるので、登校したら必ず掲示板を確認します。また、群馬大学のホームページの教務システムでも連絡事項を確認することができます。教務システムは携帯電話からも見ることができます。

サークル活動

サークルは、普段関わる機会がない他学部の人とも仲良くなれるのでとても楽しいです。私が所属しているバレーボールサークルでは、バレーボールの練習をするだけでなく、時には他大学のサークルと練習試合をすることもできるのでさらに交友関係を広げることができます。

勉強

大学生は講義と講義の間に空き時間ができる場合があるので、その時間を有効活用して講義の復習やレポート作成をします。大学には学部棟の自習室や図書館など勉強できる場所がたくさんあるので、常に集中して取り組むことができます。

Documentary

続けること！



情報行動学科 3年
吉田 晃紀
Yoshida Kouki
富岡高等学校 (群馬県)



私がこの社会情報学部に入った時、特にこれといってやりたいものはありませんでした。楽しいキャンパスライフを送りたいと思う程度でした。もともと人を楽しませることが好きで、イベントの企画をやってみたくてという漠然とした気持ちでイベント企画団体LAMPというサークルに入りました。このサークルでは名前の通りイベントの企画・運営を行い、荒牧祭で行われるミスコンを主としてさまざまな活動を行っています。決して楽しいことばかりでなく大変なこともありましたが、今まで続けてきて本当に良かったと思っています。1つのことをみんなで作り上げる喜びと達成感、逃げずにやり通した人にしかできない貴重な経験だからです。

社会情報学部は学生を主体として、多くのことに挑戦することができる環境が整っています。サークル・勉強・遊びなどさまざまなことに挑戦して、それらをやり通すことで得られるものは多いです。これからも、より充実したキャンパスライフを送るためにも多くのことに挑戦していきたいと思っています。

将来への第一歩



情報行動学科 3年
岡島 美月
Okajima Mizuki
桐生女子高等学校 (群馬県)

私は現在、地元テレビ局でアルバイトをしています。マスコミ関係の仕事に興味があり、この学部に入学した私にとって、テレビ局でのアルバイトは、とても貴重な体験であり、魅力的なものでした。

私は主にニュース番組を制作する報道部で仕事をしています。仕事内容は、原稿のコピーや、テレビ画面に表示されるデータ放送の文章の入力などの事務的なことから、フロアディレクターまでさまざまです。また、市長選や県議選などの選挙が行われる時には、選挙の特別番組の手伝いなども行っています。

こういった経験を通して、ニュース番組が出来上がる過程や取材の方法、報道の裏側など現場だからこそ学べるものがたくさんありました。ここでの経験や学んだことを将来に繋げていけたらと思っています。

社情の特徴を生かそう！



情報社会学科 2年
宇田 竜太
Uda Ryuta
東京農業大学第二高等学校 (群馬県)

私は入学してまだ1年しか経っていませんが、この学部に入ることができて非常に満足しています。

入学当初、先輩方から「自分から動かないと何も始まらないよ」と耳にタコができるほど言われました。はじめはその言葉の重みを十分に理解していませんでしたが、この言葉を忘れずに行動しようと思いました。

私はこの1年間で、学外で開催されたワークショップや他大学主催のイベントスタッフ「森ゼミ」という自主ゼミで活動しました。

これらに参加できたのは他学部には比べ時間がある、社会情報学部所属していたからこそだと思います。

僕は今年、友人と地域活性化団体「enerGy」を立ち上げました。

これからはこの団体の活動を通して、さらに大学生活を充実したものにしていきたいと考えています。

大学生活では今まで以上に時間を自分の好きなように使うことができます。例えば部活やサークルに熱中したり、興味のある分野を勉強したり、新しいことを始めたり…。このページではそんな社会情報学部の頑張っている学生を紹介します。

言葉の違いに負けない！



情報行動学科 3年
鈴木 更
Suzuki Sara
滝川高等学校 (北海道)



私は今、英語の学修に力を入れています。大学では講義を自由に選択し受講することができます。私は英語の授業を週に3つ受け、生の英語に触れながら学修しています。中にはネイティブの先生が英語だけで進める授業もあります。講義以外の時間にも、単語帳を開いたり、洋楽を聴いたり、毎日少しずつでも英語に触れるような工夫をしています。

TOEIC や TOEFL のスコアを上げることも目標の1つですが、英語を学習する際の1番の原動力は「言葉の違いに負けたくない」という思いです。自分の興味関心を追求しようとする時に立ち足るものが言葉の壁です。誰かと話す時、本や論文を読む時など、この壁を避けては通れません。だからといって、「言葉の違いに負けて追求を諦めるのは悔しい！」と思い、今必死に勉強しています。

夢を追い続けて

私は、アカペラサークルVoice Creamに所属しています。中学3年生の時にアカペラのバラエティ番組「ハモネブ」を見て、自分もアカペラをやりたい、その中でもボイスパーカッションのパートを担当したいと思いました。そして、大学生になったら必ずアカペラサークルに入ろうと決め、大学入学までの3年間独学で必死に努力しました。その努力のおかげもあり今は、本当に自分が望んでいた通りにアカペラをすることができて、とても充実しています。サークル内には自分以外にボイスパーカッションができる人がもちろんたくさんいて、その人たちと切磋琢磨しながら、自分のスキルが上がっていくのをとても感じます。そういう環境で練習していくうちに、群馬にとどまらず、全国的に有名なパーカッションistになるという新しい夢ができました。

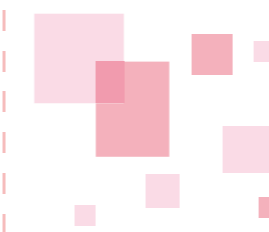
このサークルなしには私の大学生活は成り立たないと思うほど、素晴らしいサークルです。



情報社会学科 2年
米澤 慶祐
Yonezawa Keisuke
水戸桜ノ牧高等学校 (茨城県)



同じ興味を持つ人たちとの繋がり



情報社会学科 3年
関 寛奈
Sekki Kanna
吾妻高等学校 (群馬県)



私は音研サークルのFR(フォークロック)とバトミントンサークルのG-boyzの2つのサークルに所属しています。

私は高校の時にギターマンドリン部に所属しクラシックギターを弾いていました。大学に入って趣味で始めたエレキギターを使ってライブなど活発に行きたいと思い、所属することを決めました。FRはバンド・ライブ活動だけでなく音響の作業も行います。例えば1年生に向けたサークル紹介で各サークルが使用するマイク・BGMなどの調整を私たちFRが行います。そのため楽器の技術だけでなく機材の知識も身に付けることができます。またライブを通じて他大学の軽音サークルの人たちとも交流することもできます。

2つのサークルに入ったことで、多くの人たちと交流を深めることができ、人脈が広がったと感じています。また活動以外で皆でご飯に行ったり遊びに行ったりなど、とても充実した日々を送っており、改めて人との繋がり大切さを感じています。

年間スケジュール

社会情報学部では楽しい行事がいっぱい！ここではその中のいくつかを紹介します。
充実した1年を感じてください！



入学式・オリエンテーション・新入生研修



若葉の季節です。新入生は20周年を迎え今なお進化を続ける社会情報学部の一員に加わります。この時期、新入生はさまざまな行事を通じて大学に馴染んでいきます。不安や希望を胸に一步を踏み出します。



自分を知ること

情報行動学科 1年 (推薦)
別府青山高校 (大分県)
森 来奈 Mori Rana



私は地元の大学では自分のやりたいことができないと思い、さまざまな大学のパンフレットを取り寄せいくつかの進路を考えた結果、群馬大学を見つけました。ここなら自分のやりたいことができると思い、3年生の夏に受験校を決めました。小論文は、いろいろな大学の過去問を解いて学校の先生方に添削してもらおうという対策を繰り返しました。面接も自分自身にたくさん問いかけ、自分を知り練習を重ねました。壁にぶつかることや不安になることもあると思いますが、自分を信じて頑張ってください。充実した大学生活を送っている自分を想像して、夢に向かって頑張ってください！

広い視野で

情報行動学科 1年 (前期)
北見北斗高校 (北海道)
森田 一輝 Morita Kazuki



私は将来の目標とは別に、問題解決能力を養うために広い分野に接することができるこの学部に入学を決めました。高校卒業前に一番やっておいた方がいいことを挙げるのであれば、多角的に考える練習です。私自身、小論文の練習やディベートで身に付けた力が大学で役に立っている実感があります。小論文を受験に使わない人にとっても、自分の知識を効率的に伸ばす助けとなります。この学部の入試は基礎が中心に問われます。学校の授業をおさえつつ、いろんな角度から考える力を身に付けたら、あとはリラックスして臨めばベストな結果が先にあります。頑張れ！

感謝を忘れず

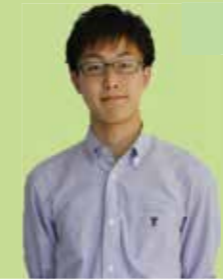
情報社会科学科 2年 (推薦)
前橋育英高校 (群馬県)
村上 晴菜 Murakami Haruna



将来の夢が見つからなかった私は、何かやりたいことが見つけれられると思い、さまざまな分野を学べる社会情報学部を志望しました。受験対策としては、先生や家族に面接練習と小論文添削を協力してもらいました。注意されたところを何度も見直して、完璧になるまでやり続けました。練習の積み重ねによって、自然と自信が付き、これからの就職活動にも活かせると思います。合格できたのは先生や家族のおかげです。本当に感謝しています。面接や小論文が苦手な方は、周りのサポートに感謝しながらぜひ毎日練習してみてください。楽しいキャンパスライフを送れる日が待っています。

嘘

情報行動学科 2年 (後期)
磐田東高校 (静岡県)
平野 皓大 Hirano Kodai



前期試験後の最初の平日から、後期試験対策をはじめました。毎日昼休み、高校で一番信頼していた国語の先生に自宅で解いた過去問題を添削していただきました。先生が初日に私に対して放った言葉は「お前は(群馬大学に)落ちない」でした。何の根拠もない嘘でしたが、嬉しかったです。私の第一志望の受験が記念受験だったことを知っての言葉だったでしょう。先生の言葉のおかげで、なんとかめげずに試験対策ができて無事に今、社会情報学部で学んでいます。

為せば成る！！

情報社会科学科 1年 (後期)
長岡大手高校 (新潟県)
渡辺 陽介 Watanabe Yosuke



志望校を決めたのは高校3年生の夏でした。それと同時に本格的に受験勉強をはじめ、主にセンター試験対策をしていました。二次試験対策はセンターが終わってからで、私は英語と小論文が必要だったので英語は記述型の長文や過去問、小論文は興味のある分野の本を読んで実際に書き、学校の先生に添削をお願いしていました。興味のある分野の本を読むと小論文の話題に使えるのでとても役立つと思います。受験勉強は苦しいですが、やればやるほど志望校に近づけます。楽しい大学生活をイメージして受験勉強を頑張ってください！！

早めの対策を

情報社会科学科 3年 (編入)
米沢女子短期大学 (山形県)
五百川 柚希美 Imokawa Yukimi



群馬大学の編入試験は、3つの試験で成り立っています。1つ目は、英語か数学です。私は英語を受験しました。過去問をたくさん解き、群馬大学の出題傾向に慣れました。2つ目は、論述式の専門科目です。課題図書型で、5分野から2分野を選びます。教授が予想問題を作ってください、それぞれ解答を考え、一緒に受験する友達と確認、共有しながら頭に入れました。3つ目は、面接です。志望理由書で聞かれそうなところを突き詰めて考え、話す練習を繰り返しました。試験本番は7月で、他大学より早いです。私は1年生の2月から勉強を始めました。早めの対策が鍵になると思います。

春

群馬大学 入学式

テスト

講義の集大成です。大学ではS・A・B・C・Dの5段階で評価されます。なおDと評価なしのXは単位が認められません。前期は7月の終わり～8月初め、後期は2月初めにテストがあります。

夏休み

夏休みはおおよそ8月中旬～9月下旬までです。この間に学生達は濃密な思い出を作ります。旅行・留学・勉強・アルバイト・その他…。やろうと思えば何でもできます。夏は平等に私たちの前に訪れます。



夏

スポーツ大会

学年の壁を越える行事です。学生はさまざまな種目で競い合います。多くの学生と交流できる行事です。



荒牧祭

他大学の学生や地域の方々などたくさんの方が来場します。企画や屋台で皆が毎年盛り上がり、2015年の荒牧祭は12月開催予定です。



秋

冬・春休み

冬休みは年末年始のおよそ1週間。春休みは2カ月程度になります。この期間にスキー・スノーボード・旅行などに出かける学生が多いです。



卒業式

大学生活4年間で最後の行事です。皆と共に多くのことに取り組んできた学生生活。そこで得たかけがえのないものを胸に広い世界へと旅立ちます。新しいスタートです。



冬

社情だからできること

SIJ

(Social and Information Journal)

SIJではみんなの興味のある内容を「群馬」と「社会情報」に絡めたテーマで、フリーペーパーの制作をしています。毎年、テーマや企画を考えることから始め、取材・デザイン作り・文章編集・写真加工・印刷業者への依頼など、作業の全てを自分たちの手でやります。技術の向上も間違いなし！素敵なアイデアを持つそのあなた！何もないところから自由に生み出す「喜び」と「感動」を一緒に感じてみませんか？



ハンセン病スタディーツアー

ハンセン病スタディーツアーでは、ハンセン病問題に関する正しい知識を普及し、人権尊重の精神を涵養することを目的として、草津町にある国立ハンセン病療養所栗生楽泉園で行われています。2014年度のツアーでは群馬大学から15名の学生がハンセン病市民学会にボランティアとして参加し、市民学会の開催中、栗生楽泉園フィールドワークの参加者に、重監房跡地、社会交流会館、納骨堂などを案内しました。

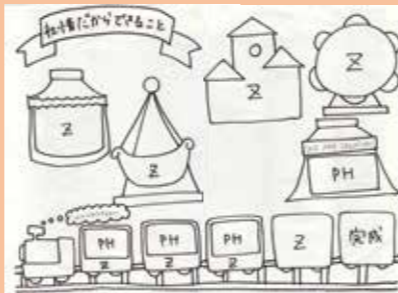
このページができるまで

企画会議



今年の方針や載せたい内容について話し合い、それに基づいてページ割りを行い、ページの担当を決めます。

手書きレイアウト



企画会議をもとに、タイトルや文章、写真の配置を手書きで考えます。

新しいことにチャレンジ！

このページでは社情ならではの、学生による活動を紹介します。今までになかった新しい活動の中で、あなたのやりたいこともみつかるはずです！私たちと社情で新たな自分を探してみませんか。

やる気の木プロジェクト

「やる気の木プロジェクト」は前橋市の中心市街地活性化のために、学生主体で映画製作、イベント、情報発信等をしていく団体です。群馬大学だけでなく、前橋市内の他大学や専門学校と共に活動するので、地域の方々だけでなく、他大学の学生とも交流ができます。また、活動をしていく中で、前橋市の魅力についてより知ることできます。

こういった活動はなかなか体験できないので、新しいことに挑戦する良い機会になると思います！



パンフレット制作 学生委員会

社会情報学部では学生自ら「受験生に社情の魅力伝えたい」という想いのもと、パンフレットを制作しています。今年は『Restart～未来に向かって～』をコンセプトに何度も話し合いを重ねてきました。時には意見をぶつけ、納得のいくまで話し合い、協力して作り上げるパンフレット制作は将来編集者やマスコミ、デザイン関係の仕事に興味がある人には良い経験になります。あなたの好奇心を生かし、私たちと一緒にパンフレットを作りませんか？

WE ARE CREATORS!



制作



まず、紙面に載せたい写真を撮ったり、文章を依頼に行ったり、自分で文章を考えて推敲したりとパンフレットの内容部分を作りあげます。

手書きレイアウトやダミーを参考にしますが、画面上のイメージを見て変更を加えることもあります。

完成



パンフレットができあがりました！

入試情報

※入試に関する詳細は、群馬大学ホームページ内の「平成28年度入学者選抜に関する要項」等を参照して下さい。

社会情報学部
100名

社会情報学科						情報行動学科 情報社会科学科
一般入試		特別入試				3年次編入試験
前期日程	後期日程	推薦	社会人	帰国生	私費外国人留学生	
56名	16名	28名	若干名	若干名	若干名	
						一般入試
						20名 (社会人特別選抜若干名を含む)

※社会人および帰国生特別選抜の募集人員若干名は、前期日程の募集人員に含まれる。

入試の実施教科・科目について

一般入試	前期日程	後期日程															
	大学入試センター試験 個別学力検査等 └─── 数学または英語	大学入試センター試験 個別学力検査等 └─── 小論文															
	大学入試センター試験の利用教科・科目																
	<table border="1"> <tr> <td>国語</td> <td>国</td> <td>理科</td> <td>物基 化基 生基 地基 物化生 地学</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A 世B 日A 日B 地理A 地理B</td> <td>外国語</td> <td>英 独 仏 中 韓</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社 倫理 政経 倫・政経</td> <td colspan="2">※旧教育課程履修者に限り、選択可。 [5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目、または6教科8科目]</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>数Ⅰ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ 数Ⅱ・数B 簿 情報 工※</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	国語	国	理科	物基 化基 生基 地基 物化生 地学	地歴	世A 世B 日A 日B 地理A 地理B	外国語	英 独 仏 中 韓	公民	現社 倫理 政経 倫・政経	※旧教育課程履修者に限り、選択可。 [5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目、または6教科8科目]		数学	数Ⅰ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ 数Ⅱ・数B 簿 情報 工※		
国語	国	理科	物基 化基 生基 地基 物化生 地学														
地歴	世A 世B 日A 日B 地理A 地理B	外国語	英 独 仏 中 韓														
公民	現社 倫理 政経 倫・政経	※旧教育課程履修者に限り、選択可。 [5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目、または6教科8科目]															
数学	数Ⅰ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ 数Ⅱ・数B 簿 情報 工※																
個別学力検査等(前期日程)		個別学力検査等(後期日程)															
数学 数Ⅰ 数Ⅱ 数A 数B 英語 コミュニケーション英語基礎 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 英語表現Ⅰ・Ⅱ ※数学または英語のいずれかを当日選択、あるいは 数学・英語両方を受験し、高得点の成績を用いることが可能。	小論文																

推薦	3年次編入試験	一般入試
小論文 面接 出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し、 小論文・面接および出願書類を総合して判定する。		学力検査(数学または英語のいずれかを選択) 数学 英語 専門科目 面接

問い合わせ先

一般入試、特別入試についてのお問い合わせ
群馬大学学務部 学生受入課入学試験係 〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 電話 027-220-7149/7150 FAX 027-220-7155

3年次編入試験についてのお問い合わせ
群馬大学社会情報学部 教務係 〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 電話 027-220-7404 FAX 027-220-7405

諸費用

入学科	282,000円
授業料(半期)	267,900円
後援会費	20,000円
同窓会費	20,000円
学生教育研究災害傷害保険料	3,300円
学研交付付帯賠償責任保険料	1,360円
荒牧クラブ・サークル協議会費	4,000円
テキスト代(年間)	約20,000円

Q & A

Q.1 群馬大学の募集要項の取り寄せ方がわかりません。

○資料請求サイト「モバっちょ」で請求する場合
パソコン、スマートフォン等から「モバっちょ」にアクセスして、指示に従って請求してください。
URL <http://djic-mb.jp/gunma-u3/> からアクセスしてください。

○テレメールで請求する場合
パソコン、スマートフォン等又は自動音声応答電話の指示に従って請求してください。

・インターネット(パソコン・携帯電話)
URL <http://telemail.jp>
・自動音声返答電話
IP電話 050-8601-0101

Q.2 入試情報を教えてください。

平成27年度の入学志願者・合格者数等は以下の通りです。

○推薦入試
募集人数：28
志願者数：44 志願倍率：1.6 合格者数：29

○一般入試(前期)
募集人数：56
志願者数：131 志願倍率：2.3 合格者数：69

○一般入試(後期)
募集人数：16
志願者数：113 志願倍率：7.1 合格者数：20

Q.3 合格者平均点はどのくらいですか？

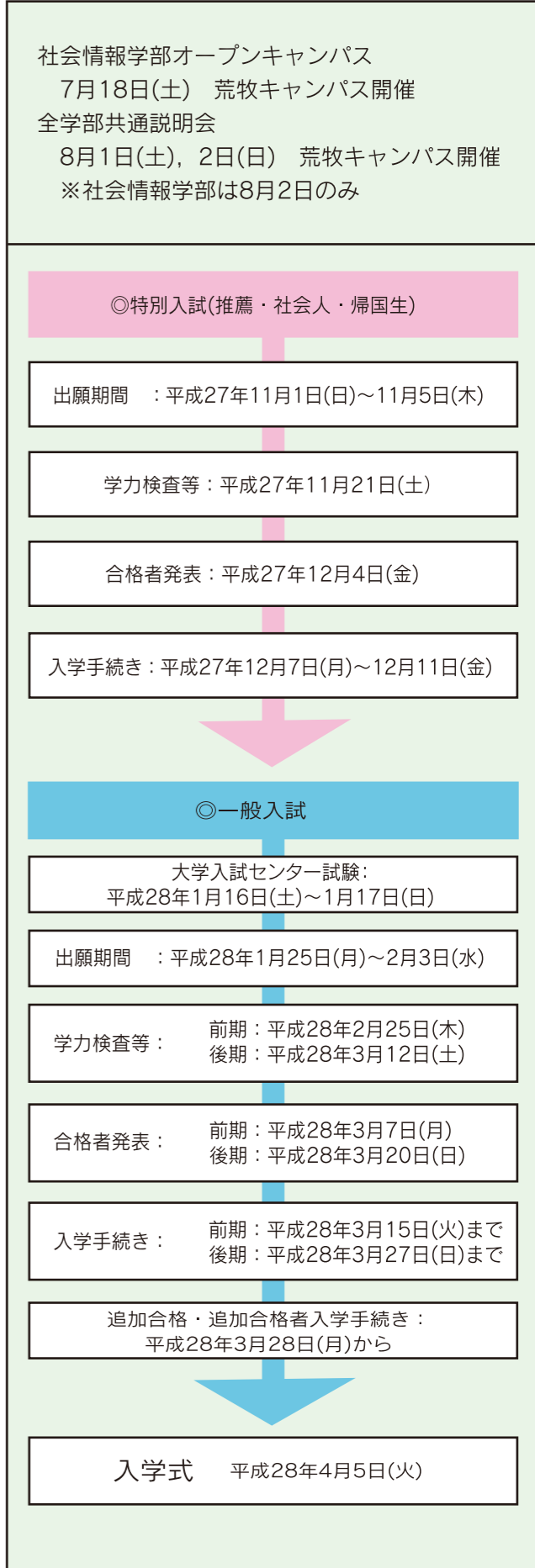
平成27年度の一般入試成績、合格者平均点は以下の通りです。

(前期) 満点1300点(うちセンターは900点)
センター：588.73点 総得点：876.69点

(後期) 満点1300点(うちセンターは900点)
センター：586.42点 総得点：871.65点

※平成28年4月から1学科(社会情報学科)となる予定(設置計画申請中)のため情報行動学科と情報社会科学科を合計した数である。

入試スケジュール



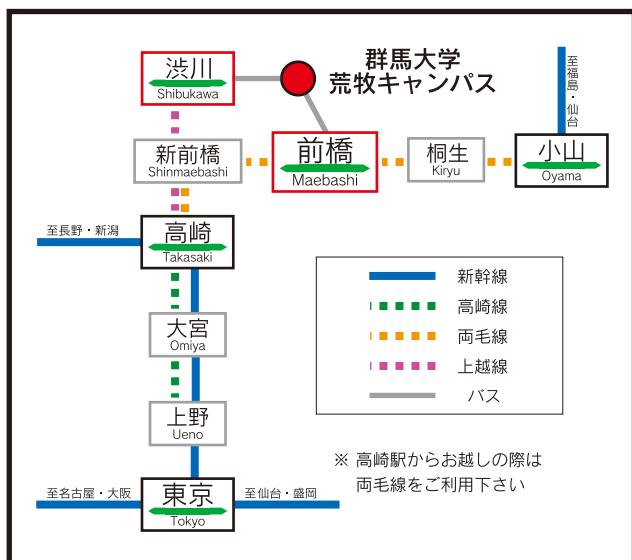
荒牧キャンパスへのアクセス

JR・バスでのアクセス

- JR両毛線 前橋駅下車**
 渋川駅・小児医療センター行きバス(関越交通)
 群馬大学荒牧または前橋自動車教習所前下車
 所要時間約25分
- JR上越線 渋川駅下車**
 前橋駅行きバス(関越交通)
 群馬大学荒牧または前橋自動車教習所前下車
 所要時間約30分
 東京から新幹線利用で高崎まで約50分
 上野から高崎線快速利用で高崎まで約95分
 高崎から両毛線利用で前橋まで約20分
 小山から両毛線利用で前橋まで約90分

自動車でのアクセス

- 北からのルート**
 関越自動車道渋川伊香保ICから
 国道17号線を前橋方面へ
 約5km先の関根町交差点を右折すると
 約300m先正面に大学正門
- 南からのルート**
 関越自動車道前橋ICから国道17号線を渋川方面へ
 前橋市千代田町の国道50号線との交差点から
 約5km先の関根町交差点を左折すると
 約300m先正面に大学正門
 駒寄スマートICから荒牧キャンパスまで約15分
 渋川伊香保ICから荒牧キャンパスまで約15分
 前橋ICから荒牧キャンパスまで約30分



インターネットからのアクセス

- 社会情報学部ホームページ**
<http://www.si.gunma-u.ac.jp/>
- WEB版パンフレット**
<http://www.si.gunma-u.ac.jp/shokai/pamph.html>
- 群馬大学ホームページ**
<http://www.gunma-u.ac.jp/>
- 群馬大学公式ツイッターアカウント**
 「群馬大学入試広報」@gunma_uni_ad
- 群馬大学公式 LINE アカウント**
 「群馬大学入試広報」@gunma_uni_ad



群馬大学社会情報学部案内2016
 発行：群馬大学社会情報学部企画広報室
 2015年7月

社会情報学部パンフレット制作学生委員会

委員長：飯塚佳乃 編集長：馬持沙織 制作長：島田まい
 石橋里佳 遠藤美由 大月希望 川田和樹 芝裕香 舟山奈緒

